

# 第3期八戸市次世代育成支援行動計画前期計画 令和7年度実施状況

令和8年度第1回  
八戸市子ども・子育て会議

差替

資料1-1

## 基本目標1 こどもの誕生前から乳幼児期までの切れ目ない支援

※追記・修正部分は赤字により記載

- 指標 ・妊婦健康診査受診率：98.40%（前年差 -0.5pt）
- ・乳幼児健康診査受診率【乳児一般委託健康診査：98.3%（見込値、前年差 -1.2pt）、乳児股関節脱臼検診：97.5%（前年差 -0.4pt）、1歳6か月児健康診査：99.9%（前年差+2.1pt）、3歳児健康診査：97.4%（前年差 -3.5pt）】
- ・産後うつ傾向の母親の割合：3.9%（前年差 +0.3pt） ・この地域で子育てをしたいを思う親の割合：93.2%（前年差+0.6pt）
- ・保育所等利用待機児童数：0人（前年差±0人） ・小学校における就学前教育施設との交流活動・参観等の実施率：100.0%（前年差±0pt）

### 具体的施策（1）切れ目ない支援によるこどもと親の健康増進

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
1	こども家庭センター事業	○児童福祉機能(旧子ども家庭総合支援拠点)として、こどもとその家族及び妊産婦等を対象に、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行い、要支援児童もしくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦等への支援業務の強化を図る。 ○母子保健機能(旧子育て世代包括支援センター)として、妊産婦等の妊娠期から子育て期までの総合的な支援を行う。	【児童福祉機能】 相談対応件数：301件 (虐待対応件数：130件、その他養護相談117件、育成相談47件、その他の相談7件)  【母子保健機能】 はちまむ相談：668件 (庁内健康相談378件、電話健康相談272件、メール相談等18件)		a(順調に進んでいる)	こども家庭相談室 すくすく親子健康課
2	妊娠・出産包括支援事業	妊娠期から子育て期にわたる妊産婦及び乳幼児とその保護者の健康の保持増進に関する支援並びに経済的支援を行う。 ①産前産後サポート事業 妊娠8か月頃の妊婦への電話・面談支援 妊産婦交流会 ②産後ケア事業 出産後の産婦に対して、委託している医療機関等において心身のケア等の支援を行う。 ③妊婦等包括相談支援事業 妊娠届出時から妊娠中並びに乳児全戸家庭訪問時の妊産婦の面談を通じて必要な支援につなげる伴走型相談支援を行う。 ④はちまむ応援金(妊婦のための支援給付金) 妊娠届出時の妊婦へ5万円、出産後の産婦へ5万円を、妊婦支援給付金として支給する。	①産前産後サポート事業 妊娠8か月頃の妊婦への電話：面談支援件数 892件 妊産婦交流会：12回 93組 179人(延べ) ②産後ケア事業 実人数 157人 延べ405人 ③④はちまむ応援金給付件数 2176件 (妊娠期 1103件、子育て期 1073件)		a(順調に進んでいる)	すくすく親子健康課
3	健康教育	下記事業を実施し、母子保健に関する知識の普及啓発を図る。 ①両親学級 ②すくすく離乳食教室 ③子育て出前講座	①両親学級 12回217組(434人) ②すくすく離乳食教室 23回204人 ③子育て出前講座 18回843人		a(順調に進んでいる)	すくすく親子健康課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
4	健康相談	下記事業を実施し、妊産婦から乳幼児の個別の母子保健相談に対応し、適切な助言を行うとともに子育て等に関する不安の軽減を図る。 ①妊娠届出受理・母子健康手帳交付及びマタニティ健康相談 ②赤ちゃん健康相談・よちよち健康相談 ③2～3歳児発達相談 ④3～5歳児発達相談 ⑤療育相談 ⑥各地区健康相談	①妊娠届出受理・母子健康手帳交付及びマタニティ健康相談 242回 1092人 ②赤ちゃん健康相談・よちよち健康相談 12回 323人 ③2～3歳児発達相談 12回 137人 ④3～5歳児発達相談 12回 182人 ⑤療育相談 6回 9人(延べ16人) ⑥各地区健康相談 11回45人		a(順調に進んでいる)	すくすく親子健康課
5	健康診査	妊婦から乳幼児の下記健康診査を実施し、疾病等の早期発見や早期治療に努めるとともに育児等に関する適切な助言を行う。 ①妊婦委託健康診査 ②妊婦歯科健康診査 ③産婦健康診査 ④新生児聴覚検査 ⑤乳児一般健康診査及び精密検診 ⑥乳児股関節脱臼検診 ⑦1歳6か月児健康診査及び精密検診 ⑧3歳児健康診査及び精密検診 ⑨1歳6か月児及び3歳児精神発達精密健康診査	①妊婦健康診査: 98.4% 1032人 ②妊婦歯科健康診査: 52.9% 571人 ③新生児聴覚検査: 99.5% 1,022人受診(R8.5.11時点) ④乳児一般健康診査及び精密検診: 98.3% 984人受診(見込) ⑤乳児股関節脱臼検診: 97.5% 987人受診 ⑥1歳6か月児健康診査及び精密検診: 23回、99.9%、1,044人受診 ⑦3歳児健康診査及び精密検診: 22回、97.4%、1,187人受診 ⑧精神発達精密健康診査: 42人		a(順調に進んでいる)	すくすく親子健康課
6	家庭訪問	下記訪問事業を実施し、妊産婦から乳幼児の健康管理を推進するとともに子育てに関する不安の解消を図る。 ①妊産婦・新生児(乳幼児)訪問指導 ②乳児家庭全戸訪問事業 ③養育支援訪問事業	①訪問総数: 実 3,730人(延 5,064人)(内訳) 妊婦: 実 79人(延 125人) 産婦: 実 1,121人(延 1,538人) 乳児: 実 1,141人(延 1,578人) ※新生児含む 幼児: 実 568人(延 727人) 児童生徒: 実193人(延 239人) その他: 628人(857人) ②R7出生数 1,001人に対し 996人に訪問実施(99.5%) ③養育支援訪問数: 435件		a(順調に進んでいる)	すくすく親子健康課
7	八戸市妊産婦アクセス支援事業	自宅等から遠方の周産期母子医療センター等での妊婦健診・分娩を必要とする妊婦及び周産期母子医療センターのNICU・GCUに入院する赤ちゃんの面会を必要とする産婦に交通費と宿泊費の助成を行い、妊産婦の経済的負担軽減を図る。	八戸市の旅費規程に基づき助成金を算出。 面会7人 460,745円(青森県立中央病院・弘前大学医学部附属病院・宮城県立こども病院) 分娩9人 49,412円(青森県立中央病院・岩手医科大学附属病院、他) 妊婦健診6人71,352円(青森県立中央病院・弘前大学医学部附属病院・岩手医科大学附属病院・宮城県立こども病院)	対象者の経済的負担を軽減できた。	a(順調に進んでいる)	すくすく親子健康課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
8	不妊専門相談センター事業	専門医が不妊・不育症に悩む方の相談に応じ、不妊・不育症に関する医学的知識や治療内容などの情報提供を行う。	不妊専門相談 4回 6組 9人		a(順調に進んでいる)	すくすく親子健康課
9	乳幼児予防接種事業	予防接種法に基づき予防接種を実施し、乳幼児疾患の予防及び健全育成を図る。	事業周知とともに対象者に個別勧奨を実施(4月) ・対象者 1,378人 ・接種者 1,307人 ・接種率 94.8%	MRワクチンの偏在等を理由に期間内の接種ができなかった者について2年間(R7.4.1~R9.3.31)の延長措置が取られている。	a(順調に進んでいる)	保健予防課
10	休日・夜間の救急医療体制の確保	休日・夜間における急病患者のため、休日夜間急病診療所に小児科医を確保する。	365日間診療 小児科受診者数4,946人		a(順調に進んでいる)	保健総務課

## 具体的施策(2) 乳幼児期の教育・保育の充実と就学に向けた支援

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
11	時間外(延長)保育事業	保育施設等で通常利用時間を延長して保育を行う。	・標準時間 年間延べ利用児童数 61,686人 ・短時間 年間延べ利用児童数 34,870人		b(概ね順調に進んでいる)	こども未来課
12	子育て短期支援事業(ショートステイ)	保護者の疾病その他の理由により、こどもの養育が一時的に困難となった場合、短期間こどもを保護する。	利用件数10件(延べ33日)		a(順調に進んでいる)	子育て支援課
13	一時預かり事業	幼稚園等で通常就園時間を超えて在園児を預かる(幼稚園型)ほか、家庭での保育が一時的に困難となった場合、保育施設等でこどもを預かる(一般型)。	・一般型 実施施設数 38施設 年間延べ利用児童数 5,495人 ・幼稚園型Ⅰ 実施施設数 61施設 年間延べ利用児童数 131,148人 ・幼稚園型Ⅱ 実施施設数 1施設 年間延べ利用児童数 430人		b(概ね順調に進んでいる)	こども未来課
14	病児・病後児の保育体制に関する支援事業	病気の回復期に至っていないが、症状が安定しているこども(病児)、及び病気の回復期にあるが、集団保育が困難なこども(病後児)の保育サービスを行い、利用申込みやキャンセルに便利なインターネット予約サービスシステムを施設に導入し、運営経費支援する。	実施施設数:5施設 利用児童数:1,545人(内ネット予約者数:1,541人)		b(概ね順調に進んでいる)	こども未来課
15	休日保育の実施	休日に保育が必要なこどもを保育する。	・休日保育 実施施設数 9施設	引き続き休日に必要な子供を保育する。	a(順調に進んでいる)	こども未来課
16	認可外保育施設助成事業	認可外保育施設に対し、こどもの健診費、保育材料費を助成する。	・入所児童の健診費助成 3施設 ・保育材料費助成 1施設		a(順調に進んでいる)	こども未来課
17	第3子以降の保育料軽減	教育・保育施設を利用する0歳から2歳児クラスの第3子以降のこどもの保育料を軽減する。	認可・認可外保育所等 379人	多子世帯の経済的負担を軽減することができた。	a(順調に進んでいる)	こども未来課
18	保育施設等整備事業	児童の安全な保育環境の確保、良質かつ効果的な教育及び保育の実施のため、市の整備計画の方針に基づき就学前教育・保育施設の整備等に要する費用に対し、補助金を交付する。	2施設 ※毎年度2施設を対象に実施		a(順調に進んでいる)	こども未来課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
19	保育士資格等取得支援事業	保育士資格等の取得に要した費用の一部助成を行う。	・令和7年度 保育士試験による資格取得支援 支援 : 1施設1名		a(順調に進んでいる)	こども未来課
20	八戸市未来の保育士応援奨学金制度	保育士養成施設に在学しており、将来市内の保育所等で保育士として従事しようとする者に対し、奨学金を貸与する。	応募者: 3名 決定者: 3名 令和7年度卒業者4名中、3名が市内保育所等保育士として勤務。		a(順調に進んでいる)	こども未来課
21	こども誰でも通園制度試行的事業	親の就労の有無にかかわらず、月一定時間までの利用可能枠の中で保育所等を柔軟に利用できる。(令和8年度から本格実施予定)。	実施施設数: 9施設(内1施設は令和7年11月から実施) 利用児童数: 延べ434人(実人数175人) 利用時間数: 延べ1139時間	令和8年度から本格実施となり、給付制度へ移行。	b(概ね順調に進んでいる)	こども未来課
22	保育補助者雇上強化事業	保育士の勤務環境改善に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない短時間勤務の保育補助者の雇上げに必要な費用の一部を補助する。	保育事業者の申請に基づき、保育補助者の雇上げに必要な費用の一部を補助した。 支援 : 16施設16人		a(順調に進んでいる)	こども未来課
23	児童福祉施設等産休代替職員設置事業	児童福祉施設等の職員が、出産又は傷病のため、長期間にわたって継続する休暇を必要とする場合に、その職員の職務を行わせるための産休等代替職員の人件費を補助する。	児童福祉施設等の申請に基づき、産休等代替職員の人件費に係る補助金を交付した。 補助件数: 1件(107日間分)		a(順調に進んでいる)	こども未来課
24	保育所等業務効率化推進事業	保育士の業務負担軽減を目的とした保育業務のICT化のため機器導入等に要した経費について、その一部を補助する。	保育所等の申請に基づき、ICT化に要する経費の一部を補助した。 補助施設数: 1園		a(順調に進んでいる)	こども未来課
25	幼稚園補助事業	幼児教育振興のため、幼稚園等に対し教育備品購入費を補助する。	交付対象園: 20園 (学校法人が設置する認定こども園を含む。)		a(順調に進んでいる)	学校教育課
26	幼保小連携推進事業	「幼保小の架け橋プログラム」に基づいた相互参観や交流活動を通じて、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校が連携し、幼児児童の学びの連続性を図る。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	市内全小学校(41校) ・代表者会議を実施(年2回) ・幼保小連携担当者連絡協議会 ・入学予定児童の保護者向けパンフレット配布 ・幼保小連携研修会を開催 ・各小学校によるオープンスクールの実施 ・各小学校区ごとに地区会を開催して、小学校と幼児教育・保育施設で相互参観・情報交換を実施 ・「幼保小の架け橋プログラム」の作成  施設型給付費のうち小学校接続加算の認定を受けている施設 77施設	・幼児にとっては、入学後の小1プロブレム解消につながっており、小学校児童にとっても、上級生として意識の高まりや心の成長につながっている。 ・教職員等にとっては、小学校と園等の相互理解や発達の段階を踏まえた幼児児童理解が進んだ。	b(概ね順調に進んでいる)	教育指導課 こども未来課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
27	ブックスタート事業	乳児を対象として、絵本を介して親子が心ふれあうひとときを持つ機会を提供する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	配付率：101.5% 配付数：1,012組 実施回数：48回 ・総合健診センターで行われる、乳児股関節脱臼検診の終了後、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、絵本1冊、図書館の利用案内、おすすめブックリスト、ぬくもりつみきなどを布製バッグに入れた、ブックスタートパックを手渡す。 ※配付率については、令和6年度以前の配付対象者への配付も行ったため100%を超えたもの。		a（順調に進んでいる）	図書館
28	おはなし会	定期及び季節ごとにおはなし会を開催する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	【本館】 ・定期のおはなし会 参加者：1,195人 開催回数：147回 毎週木曜日（担当：職員）、土曜日午前・午後（担当：ボランティア）の週3回、絵本の読み聞かせ等を実施した。 ・季節のおはなし会（夏・冬1回ずつ開催） 参加者：108人 【南郷図書館】 ・定期のおはなし会 参加者：397人 開催回数：43回 毎週日曜日の午前、図書館スタッフやボランティアによる絵本の読み聞かせ等を実施した。 ・季節のおはなし会（年4回開催、157人参加） 【図書情報センター】 ・季節のおはなし会（年1回開催、5人参加）	・図書館3館及び八戸ブックセンターで配布している「おはなし会カード」を共通にすることで、他館のおはなし会への参加意欲を促した。	a（順調に進んでいる）	図書館
29	こどもの読書週間行事	こどもたちの豊かな心を育むとともに、本に親しんでもらうため、「こどもの読書週間」（4/23～5/12）におはなし会や展示等を開催する。	・企画展示「教科書で出会える あのお話 このお話」 ・春のスペシャルおはなし会 ・工作「紙コップDEこいのぼり」 ・いかずきんズ撮影会 ・子ども向けのオルゴールやクラシック音楽のBGMを館内で流した。		a（順調に進んでいる）	図書館
30	ブックリストの作成	図書館、ブックセンター、教育指導課、外部委員で構成する「選書委員会」を立ち上げ、ブックリストを作成し、利用者に提供する。	・令和7年度マイブック推進事業「本はともだち」リスト作成及び配布 ・八戸市立図書館おすすめ絵本リスト『えほんとなかよし』作成及び配布		a（順調に進んでいる）	図書館 ブックセンター 教育指導課

### 具体的施策（3） 男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・強化

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
31	仕事と家庭の両立に関する啓発事業	仕事と家庭の両立について啓発を図るため、広報やラジオ等での情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワーク・ライフ・バランスを実践するロールモデルを各媒体で紹介することで啓発を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌WITH YOU 2回（10月秋号、3月春号）</li> <li>・ラジオ放送（BeFM）50回（6人）</li> <li>・広報はちのへ 2回（7、4月号）</li> <li>・八戸市HP</li> </ul> </li> <li>◆ワーク・ライフ・バランス、女性活躍推進に取り組む事業所の事例紹介や啓発記事を掲載した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌WITH YOU1回（3月春号）</li> </ul> </li> </ul>	R8年度も継続して実施予定。	a（順調に進んでいる）	市民連携推進課
32	男性チャレンジ講座	男性の家庭参画に対する意識改革や家事能力の向上を目的とした講座を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆料理講座開催 「男の料理教室 目指せ弁当男子！」 ・11/30（日）10:00～12:30 ・八戸市公民館 調理実習室 ・受講者 9名</li> <li>◆掃除講座開催 「男の料理教室 目指せお掃除男子！」 ・1/17（土）10:00～12:00 ・（株）ノザワ「青森の家」住宅展示場 ・受講者 10名</li> </ul>	R8年度も継続して実施予定。	a（順調に進んでいる）	市民連携推進課
33	子育てつどいの広場	親子が集い交流する場の提供、子育てに関する相談、子育て情報の提供等を行う。 ①パパノートの作成 ②ブレパパ・プレママひろばの実施	①パパノートの作成 パパノートを作成し、八戸圏域連携中枢都市圏の子育て担当課の窓口に設置することで、子育て情報の周知につなげた。 ②ブレパパ・プレママひろばの実施 参加者数22人		a（順調に進んでいる）	こども未来課

### 具体的施策（4） 地域で支える子育て支援の充実

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
34	地域子育て支援拠点事業	保育施設等において、地域の子育て家庭の交流促進や育児相談等を行い、地域の子育て支援機能の充実を図る。	延べ利用者数 12,767人		a（順調に進んでいる）	こども未来課
35	子育てつどいの広場【再掲】	親子が集い交流する場の提供、子育てに関する相談、子育て情報の提供等を行う。				こども未来課
36	子育てサロン事業	孤立した子育てとならないよう、地域の親子が気兼ねなく集まり、子育ての相談や交流ができる場として、子育てサロンの運営を支援する。	子育て親子が地域の中で気軽に交流できる場を提供する。 市外含む延べ参加者数 3,680人		a（順調に進んでいる）	こども未来課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
37	ファミリー・サポート・センター事業	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と、支援したい人（提供会員）の相互間で育児援助を行う。	利用者延べ人数：858人 依頼会員：404人 提供会員：275人 両方会員：14人		b（概ね順調に進んでいる）	子育て支援課
38	子ども医療費の助成	こどもの健康の保持及び増進と、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、高校生に相当する年齢までの子どもを対象とし、保険診療の一部負担金を助成する。	0歳～高校生等までの児童の通院・入院にかかる医療費一部負担金（保険適用分）の助成 ・就学前児童 7,644人 ・小・中学生 13,384人 ・高校生等 4,529人	令和6年10月より高校生等の助成区分を「入院のみ」から「通院・入院」へ拡充し、完全無償化を実施	a（順調に進んでいる）	子育て支援課
39	八戸市妊産婦アクセス支援事業【再掲】	自宅等から遠方の周産期母子医療センター等での妊婦健診・分娩を必要とする妊婦及び周産期母子医療センターのNICU・GCUに入院する赤ちゃんの面会を必要とする産婦に交通費と宿泊費の助成を行い、妊産婦の経済的負担軽減を図る。				すくすく親子健康課
40	小児慢性特定疾病に関する支援事業	小児慢性特定疾病児童等に係る医療費の一部や県内外の専門的で高度な治療や検査を受けるための通院費に係る交通費を助成する。また、小児慢性特定疾病児童等とその家族の持つ様々なニーズに対応した相談支援を行う。 ①小児慢性特定疾病医療費支給事業及び自立支援事業 ②小児慢性特定疾病通院費助成事業	<小児慢性特定疾病医療費助成> ・新規認定者数 19人 ・受給者（実受療者）数 209人 ・相談実人員 135人 ・相談総件数 159件 ・給付件数 2,723件  <小児慢性特定疾病通院費助成> ・助成件数（通院往復数） 133件	対象者の経済的負担を軽減できた。	a（順調に進んでいる）	すくすく親子健康課
41	未熟児養育医療給付事業	養育のため入院することを必要とする未熟児に対し、退院まで（最長1歳の誕生日の前々日まで）の医療を給付する。	・新規給付認定者数 46人 ・給付件数（延べ） 117件	対象者の経済的負担を軽減できた。	a（順調に進んでいる）	すくすく親子健康課
42	妊娠・出産包括支援事業【再掲】	妊娠期から子育て期にわたる妊産婦及び乳幼児とその保護者の健康の保持増進に関する支援並びに経済的支援を行う。 ①産前産後サポート事業 妊娠8か月頃の妊婦への電話・面談支援 妊産婦交流会 ②産後ケア事業 出産後の産婦に対して、委託している医療機関等において心身のケア等の支援を行う。 ③妊婦等包括相談支援事業 妊娠届出時から妊娠中並びに乳児全戸家庭訪問時の妊産婦の面談を通じて必要な支援につなげる伴走型相談支援を行う。 ④はちまむ応援金（妊婦のための支援給付金） 妊娠届出時の妊婦へ5万円、出産後の産婦へ5万円を、妊婦支援給付金として支給する。				すくすく親子健康課

基本目標2 こどもの心身の健やかな成長に資する教育・生活環境づくり

● 指標 ・放課後児童クラブ待機児童数：0人（前年差±0人）

・コミュニティスクールにおける地域学校協働活動参加者数：20,229人（前年差－8,234人 働き方改革推進に伴うボランティア参加の学校行事の縮減によるもの）

具体的施策（1）学校・家庭・地域の教育力の向上

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
43	家庭の教育力充実事業	家庭教育に関する研修会や子育て・親育ち講座等を実施し、家庭における教育力の充実を図る。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・家庭教育研修会（回数2回、参加者数526人） ・子育て・親育ち講座（回数28回、参加者数3,643人）		a（順調に進んでいる）	社会教育課
44	コミュニティ・スクール推進事業	学校・地域・家庭が連携・協働して未来を担う子どもたちの成長を支える仕組みを構築することで、「地域とともにある学校づくり」を目指す。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・各学校又は中学校区ごとに、地域学校連携協議会を年間2、3回開催 ・各学校のコーディネーターを中心に、学校支援ボランティアも活用しながら地域学校協働活動を実施	・地域住民や保護者が学校運営の目標を共有することで、教育活動への理解が深まり、学校への積極的な協力体制が強化された。 ・地域の専門的な人材を活用することで、児童生徒の学びが多様化し、郷土愛の醸成や社会性の向上につながった。	b（概ね順調に進んでいる）	教育指導課
45	校内教育センター支援員配置事業	不登校から学校復帰する段階にある児童生徒や、不登校の兆候がみられる児童生徒に対し、日常的に学習支援を行うとともに、学校及びスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門家と連携をしながら、相談支援を行う「校内教育支援センター支援員」を新たに配置することで、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな支援を目指す。	R7年7月から中学校支援員を配置（R7年7月～R7年12月までの利用者数 延べ2,189人）	・支援員による学習指導や段階的な学校行事への参加など、生徒の状況に合わせた多様な学習環境が整備されたことで居場所が確保され、安心して登校することにつながった。	a（順調に進んでいる）	教育指導課
46	学校図書館支援事業	市立全小・中学校に学校司書を派遣し、学校図書館の活用と環境整備を促進する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・学校司書13名を小学校41校、中学校24校へ派遣 ・「マイブック推進事業」と連携し、「出張ブックトーク」を実施	・市立全小・中学校に学校司書を派遣したことにより、学校図書館が活性化されたことに加え、環境整備も整った。 ・出張ブックトークを行う学校が増え、マイブッククーポンの使用率も向上した。 ・学校司書1人当たり5校を担当しているため、1人の負担が大きい。	b（概ね順調に進んでいる）	教育指導課
47	ネット情報モラル支援事業	各小中学校が開催するインターネットトラブル防止教室に対して講師を派遣する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	インターネットトラブル防止教室支援事業を開催 ・小学校 20校 ・中学校 21校 ・他 3 合計44件	・各学校等が企画・運営するインターネットトラブル防止教室に講師を派遣することで、児童生徒が安全にインターネットを利用することや情報活用能力の向上につながることができた。	b（概ね順調に進んでいる）	教育指導課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
48	小・中学校整備事業	児童・生徒等が安全・安心に過ごせる教育環境を整備するため、学校施設の経年劣化箇所の修繕及び利便性向上のための営繕を行う。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	①令和7年度 実施事業 ・市立八戸小学校暖房設備設置工事 (工期：令和7年8月～令和8年1月) ・市立多賀小学校校舎屋上防水工事 (工期：令和7年10月～令和8年6月) ・市立八戸小学校温風炉等撤去工事 (工期：令和8年3月～令和8年6月)  ②令和7年度 実施事業 ・市立長者中学校トイレ改修工事 (工期：令和7年7月～令和8年3月) ・市立東中学校トイレ改修工事 (工期：令和7年7月～令和7年11月) ・市立白銀南中学校トイレ改修工事 (工期：令和7年7月～令和7年11月)		b(概ね順調に進んでいる)	教育総務課
49	国際理解教育・英語教育推進事業	グローバル社会で活躍する人材育成をねらい、研修体制を整備しながらALTの活用について推進する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	ALT 22名 ・1校当たり平均訪問回数 年間約76回 ・市民英会話教室 3日開催 130名参加。 講師としてALT 22名が参加	ALT月例会を通じて指導力向上を図った。日本人教員との効果的な連携や、児童生徒との円滑なコミュニケーションが促進され、学習意欲の向上につながった。今後もこの取組を継続していく。	a(順調に進んでいる)	総合教育センター
50	GIGAスクール構想推進事業	児童生徒の情報活用能力(情報モラル、プログラミングを含む)の育成を目指し、教職員のICT活用指導力向上に向けた授業改善や校内研修における実践的研究を支援する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	・校内研修7回・研修講座3回開催 ・webフィルタリングソフトの導入 ・中学校生徒分の端末5676台更新	各種アンケート結果を見ると、昨年度よりICT活用指導力向上に関して肯定的な回答が増えている。	b(概ね順調に進んでいる)	総合教育センター
51	児童科学館改修事業	こどもたちの「科学する心」を育む施設とするため、リニューアル基本計画に基づき施設や展示物を計画的に改修する。	・令和7年5月2日(金)にプラネタリウムをリニューアルオープン ・展示物改修にかかる実施設計(詳細)を策定	プラネタリウム改修後の観覧者数は、改修前よりも大幅に増加している。	b(概ね順調に進んでいる)	総合教育センター
52	教職員研修事業	「学び続ける教師 学びを生かす教師集団」を目指し、八戸市教育委員会「学校教育指導の方針と重点」を踏まえ、学校教育課題解決に資する研修内容を取り入れるなど、研修講座実施のねらいに迫る研修を実施する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	・74講座を実施 ・物事の捉え方や考え方を柔軟な考え方に変えていくことが、より適切な行動につながっていくことを学ぶ、「アンガーマネジメント研修講座」ほか、8講座を幼保小連携推進事業関連として実施。	受講者のアンケートには、「今後の実践に生かしていきたい」など肯定的な感想が多く見られた。今後も継続して、8講座程度幼保小連携推進事業関連として開催していく予定。	b(概ね順調に進んでいる)	総合教育センター
53	博物館クラブ	博物館や八戸の歴史や文化に親しむことを目的として、小中学生とその保護者を対象とした体験学習会を実施する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	博物館クラブを8回開催、合計参加者数は160人		a(順調に進んでいる)	博物館
54	なんごうあそびのひろば	あそびを通して親子で文化を学べる親子体験型講座を実施する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	なんごうあそびのひろばを4回開催、合計参加者数は51人		a(順調に進んでいる)	博物館

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
55	八戸市奨学金制度	人材の育成を図ることを目的とし、市出身の優秀な学生・生徒で経済的理由により就学困難な者に対して修学に必要な資金を貸与又は給付する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・採用人数 ※再募集分含む 貸与型 22人（募集人数72人、応募人数38人） 給付型 42人（募集人数40人、応募人数80人） ・貸与人数、貸与額 58人、27,260,000円 ・給付人数、給付額 112人、41,840,000円		a（順調に進んでいる）	学校教育課
56	小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業	市立小・中学校におけるスポーツ・文化的活動の指導体制の充実及び質的向上を図るほか、中学校部活動の円滑な地域展開に向けた調査及び検討を行うため、地域スポーツ・文化芸術活動検討協議会を運営する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・部活動指導員を13名配置した。 ・外部指導者390名の保険料を全額負担した。 ・地域スポーツ・文化芸術活動検討協議会を4回開催、中学校部活動の円滑な地域展開に向けた協議を進めた。 ・地域クラブ活動（休日）を11月～2月まで実施し、スポーツ活動5競技、文化芸術活動5種目において、延べ889名が活動に参加した。		a（順調に進んでいる）	学校教育課 文化創造推進課 スポーツ振興課
57	児童館運営事業	全てのこどもを対象とし、遊びや活動の場となるほか、子育て家庭への支援等、地域の活動拠点となる施設を運営する。	設置箇所数：15箇所 利用人数：128,880人	※利用人数のカウント方法を変更（R6年度まで一部人数が重複していたため。）	a（順調に進んでいる）	子育て支援課
58	児童館地域組織活動	児童館を拠点とし、親子及び世代間の交流、文化活動・児童養育に関する研修会活動、こどもの事故防止のための活動等を行い、こどもの健全育成を図る。	設置箇所数：15箇所 会員数：1,287人		b（概ね順調に進んでいる）	子育て支援課
59	新体育館整備事業	新八戸市体育館について多様な世代の誰もがスポーツを親しめるスポーツ振興拠点とする。	・要求水準書（案）の公表 ・実施方針（案）、要求水準書（案）に関する説明会の開催（45社参加） ・事業者ヒアリング（7・2月） ・募集要項等の作成	・建設費の高騰や全国的な入札不調等の問題があり、これまで進めてきた事業方針や整備内容では進捗が見込めない状況となったため、事業内容の見直しが必要。	c（改善が必要である）	スポーツ振興課
60	こどもの国大型複合遊具設置事業	こどもの国において、こどもの多様なニーズに対応するため、年齢や障がいの有無にかかわらず、全てのこどもが楽しく遊ぶことができるインクルーシブの考えを取り入れた大型複合遊具のある遊び場を整備する。	「アクティブゾーン」 ・単体遊具（レールウェイ） 「インクルーシブゾーン」 ・休憩施設（ユニットシェルター、縁台、ゴムチップ舗装）		a（順調に進んでいる）	公園緑地課
61	市民で賑わう公園魅力向上事業	公園の魅力向上を図るため、樹木管理計画を策定するほか、日常管理や公園施設の充実、老朽化したトイレの改修等に取り組む。	①・公園樹木等包括管理業務委託を実施202公園 ・公園清掃等包括管理業務委託を実施17公園 ・公園草刈等包括管理業務委託を実施38公園 ②八戸市公園樹木管理計画樹木調査業務委託を令和5年度～令和9年度の5か年で実施 ③糠塚公園、新井田西三丁目公園の整備完了、 とりの木沢公園PFI公募資料(案)作成		a（順調に進んでいる）	公園緑地課

## 具体的施策（２） 安心して過ごせるこどもの居場所づくり

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
62	こどもの居場所づくりコーディネート事業	こどもの居場所づくりコーディネーターを配置し、下記の取組を行うことにより、地域におけるこどもの居場所づくり支援体制の強化を図り、こどもが安全で安心して過ごせる多様な居場所づくりを推進する。 (1)こどもの居場所に関する地域資源の把握と広報 (2)こどもの居場所同士や関係機関等とのネットワーク形成 (3)こどもの居場所の開設・運営に関するサポート (4)こどもの居場所の利用に関するサポート (5)子ども食堂に対する食材支援のマッチング (6)その他、地域の居場所づくりの推進に必要な業務（居場所づくりの機運醸成及び啓発活動、企業等への支援の働きかけ等）	(1)こどもの居場所に関する地域資源の把握と広報 ・ホームページ、SNSによる広報、チラシの配布等 (2)こどもの居場所同士や関係機関等とのネットワーク形成 ・情報交換会の開催（年2回） ・運営団体の連絡システム構築 (3)こどもの居場所の開設・運営に関するサポート (4)こどもの居場所の利用に関するサポート ・(3)及び(4)に関する相談件数：28件 (5)子ども食堂に対する食材支援のマッチング ・寄附食材（規格外野菜・冷凍食品等）を配布 (6)その他、地域の居場所づくりの推進に必要な業務 ・こどもの居場所フェア開催（令和8年2月28日ピアドゥ）居場所紹介、相談受付		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
63	こどもの居場所等支援事業	こどもの居場所の継続的な運営と新規開設への支援を行う。	①子ども食堂等物価高騰対策支援金の交付 ・20団体 3,340,000円交付 ②子ども食堂支援事業費補助金の交付 ・4団体 400,000円交付		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
64	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、安全な生活の場を提供する。	・全52クラブで実施 ・登録児童数2,168人（R7年5月1日時点）		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
65	放課後子供教室推進事業	地域の全ての児童に対し、地域住民の参画を得て、学校等を活用し、放課後や週末等における体験活動や地域住民との交流活動を行う。	5地区で活動を実施 活動場所：根城小、青潮小、小中野公民館等		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
66	放課後児童対策の推進	連携型、校内交流型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備を推進する。	放課後児童クラブ：1箇所新規開設（R7年4月～）		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
67	児童館運営事業【再掲】	全てのこどもを対象とし、遊びや活動の場となるほか、子育て家庭への支援等、地域の活動拠点となる施設を運営する。				子育て支援課
68	児童館地域組織活動【再掲】	児童館を拠点とし、親子及び世代間の交流、文化活動・児童養育に関する研修会活動、こどもの事故防止のための活動等を行い、こどもの健全育成を図る。				子育て支援課

### 具体的施策（3） 生きる力を育てる機会の充実

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
69	マチナカまるっと一日体験事業	①中高生が市中心街の公共施設において、職員として普段の業務や、自ら企画や実施に携わる体験をする。（八戸ポータルミュージアム、八戸ブックセンター、美術館、長根屋内スケート場） ②高校生が1日館長に就任し、日常の業務や会議等に参加し、館長としての業務を体験する。（八戸ポータルミュージアム、美術館、図書館）	①スタッフ体験 年月日：R7.8.7 参加者：中学生3名、高校生12名 場 所：八戸ポータルミュージアムはっち 美術館 長根屋内スケート場 八戸ブックセンター 内 容：1日で4館を周り、スタッフ体験を実施  ②1日館長 年月日：図書館 R7.8.7 はっち R7.8.8 美術館 R7.8.20 参加者：各施設高校生1名～3名 内 容：各館1日館長として、館長業務を体験	（図書館） ・参加した2名の高校生には、その後も様々なイベントに参加・協力をいただいております。利用促進につながりました。 ・R8年度はスタッフ体験の受け入れも検討する。	a（順調に進んでいる）	政策推進課 八戸ポータルミュージアム 文化創造推進課 美術館 長根屋内スケート場 図書館
70	キッズパークイベント	スケートオフシーズンのアリーナ解氷期間を利用し、これまで開催実績のなかったこども向けイベントを通じて、普段、当施設を利用しない方に施設の魅力を体感してもらうため、こども向け無料イベントを行う。	・開催日：R7.5.6(水・祝) ・会 場：YSアリーナ八戸・中地 ・来場者数 1,715名 ・内 容：エア遊具4台設置、ニュースポーツ体験、幼児コーナー、整氷車乗車体験等	来場者の当初想定1,000名のところ、想定を大幅に上回る1,700名超の来場者があった。8年度も継続実施予定である。	b（概ね順調に進んでいる）	長根屋内スケート場

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
71	文化芸術推進事業	<p>①小・中学生を対象に、芸術文化に関連したワークショップ等を開催し、最後に発表会や展示等を行う。(文化創造推進課)</p> <p>②市公会堂において、小・中学生を対象としたバックヤード見学ツアーや、照明、音響を使用した体験プログラムを開催する。(文化創造推進課)</p>	<p>①【文化創造推進課】 ○文化庁による「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」を活用し、市内小学6年生を無料招待し、仙台フィルハーモニー管弦楽団オーケストラコンサートを開催した。 期日：R8.1.26 場所：SG GROUP ホールはちのへ(公会堂) 鑑賞者数：1,775人</p> <p>○立川志の太郎落語公演へ南郷地区小中学生を無料招待し開催した。公演では代表4名による落語体験コーナーも実施した。 期日：R7.11.20 会場：南郷文化ホール 小中学生鑑賞者数：223人</p> <p>①【アート&amp;コミュニティ(指定管理者)】 ○小学生から中学生を対象にした演劇ワークショップとして、「うみねこ演劇塾(ジュニア塾)」を開催し、最終日には成果発表として「うみねこ演劇塾発表会」を開催した。 期間：R7.10.4~R8.1.10(最終日は発表会) 場所：SG GROUP ホールはちのへ(市公民館) ワークショップ参加者数：21人 発表会入場者数：333人</p> <p>②【アート&amp;コミュニティ(指定管理者)】 ○小学1年生から4年生程度のこどもを対象に、公会堂裏側の見学のほか、照明卓及び音響卓の操作体験、照明・音響効果を使用した舞台上での遊びを行った。 期日：R7.8.7 会場：SG GROUP ホールはちのへ(公会堂) 参加者数：70人(こども39人、大人31人)</p>		a(順調に進んでいる)	文化創造推進課 美術館

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
71	文化芸術推進事業 (2ページ目)	③「本を読む、書く」ことに関するこども向けの企画事業を開催する。(文化創造推進課)	<p>③【文化創造推進課】</p> <p>○マイブッククーポンのおすすめブックリスト「本はともだち」に掲載した図書や関連書籍に関するトークイベントのほか、読み聞かせや工作等のアクティビティを実施。 開催日 R7.7.26 開催場所 YSアリーナ 参加者数 27人</p> <p>○中心市街地を会場に開催する年に一度の本の祭典「本のまち八戸ブックフェス」において、「54字の物語」シリーズの作者・氏田雄介さんを講師に招き、小学3年生から中学3年生を対象とした創作ワークショップを開催。 開催日 R7.9.28 開催場所 はっち 参加者数 78人 (①42人、②36人)</p>		a (順調に進んでいる)	文化創造推進課 美術館
		④小中高生を対象に見学受入れや出張授業などを実施。小中高の教員と美術館学芸員、専門家でプロジェクトチームを構成し、学校現場で活用しやすいプログラムや教材の開発・実践・発表を行うなどの教育普及活動の実施。(美術館)	<p>○【美術館】</p> <p>・「ドキッと、そこには美術館」(「コレク ションラボ011 きっと、そこには」学校連携企画)</p> <p>プロジェクトチームメンバーの教員3名が、児童生徒と鑑賞したい作品をテーマに作品鑑賞ワークシートを作成した。教員の所属校の児童生徒をバスで美術館に招待し、展覧会を観覧した。 見学者数：191人(7日間、小学校2校、中学校1校)</p> <p>・学校での朝鑑賞推進のため、教員向けの対話鑑賞のファシリテーション研修を実施 実施日：①R7.11.12②R9.3.18 実施校：①鮫中学校 ②島守中学校 参加者：①10人②8人</p>			
			<p>・小中学生、高校生が所属する「美術館新聞部」による「とれたて!すまあ〜と!第5号」発行 開催日：R8.1.8~1.9 場所：八戸市美術館 参加者：11人</p> <p>・全国の幼保、小・中、高校、大学で行われた造形美術の授業実践を紹介する展覧会「はみ出す力展vol.7~授業の展覧会2025」開催 開催日：R8.1.21~1.25</p>			

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
72	アートファーマープロジェクト	<p>美術館の活動に主体的に関わる市民の方を「アートファーマー」と呼び、アーティストと共に行うプロジェクトのほか、以下のプロジェクトを中学生以上対象に行う。</p> <p>①建築ツアーガイド 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通してオリジナルガイドを行う。</p> <p>②美術館広報部 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通して展覧会や美術館等をSNS等で発信する。</p> <p>③ものづくり部 美術館の中に、ものづくりができる場所をつくとともに、中心街での中高生の活動場所としての活用を推進する。</p>	<p>①建築ツアーガイド 5期生を募集し、講座と実践を通して八戸市美術館の建物の魅力をより多くの人に伝える取組を実施。 ガイドスタッフ数 18名（うち新規参加5名） (1)講座開催4回（青森県立美術館研修等） (2)ガイド実施12日（毎月最終土曜日ほか） (3)建築紹介パンフレット「知りたい！ハチビ！vol.3」発行</p> <p>②美術館広報部 アートファーマーならではの視点と発想で美術館事業の情報や魅力を発信した。 アートファーマー参加者数 5名 (1)活動内容：ラジオでの情報発信（第1木曜日・BeFM）12回、WEB記事の作成・発信（note）13記事</p> <p>③ものづくり部 ・エンジョイ！ぬり絵DAY 地域作家や八戸工業大学第二高等学校美術コース生を講師に迎え、オリジナルぬり絵を楽しむ。イベント当日は指導や講評も行う。 アートファーマー参加者数 11名 実施日=6/15、9月～毎月第2土曜日実施（8回） 参加者数=205名 ・かぎ針で絵を編む 八戸市出身の作家によるかぎ針編みワークショップを開催。経験者を募集し、初心者への指導や制作支援を行った。 ・アートファーマー：6名 ・活動実績：令和7年9月13日（土）～15日（月祝） ワークショップ参加者：48名 ・くにゆぎの森 魔法学校／くにゆぎの森3D冬・絶景 八戸市在住の作家とアートファーマーが版画の世界から飛び出した「くにゆぎの森」を制作。石や虫を造形し、冬休みに体験イベントを開催、来場者と交流した。 ・アートファーマー参加者数：8名 ・活動実績：制作日数 11日間 ・イベント会期 12月13日（土）～1月12日（月・祝）（24日間）</p>		b（概ね順調に進んでいる）	美術館
73	共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業（文化芸術イベントの情報発信）	市内で開催される八戸の歴史、文化や芸術などに触れることができるイベント情報を公式LINEアカウント「ヨッテミッテ」で毎週金曜日に配信する。	毎週金曜日に、市内で開催される八戸の歴史・文化・芸術に関するイベント情報を配信（登録者数1,159名）		b（概ね順調に進んでいる）	美術館

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
74	こどもの声を聴く機会創出事業	①市政へのこどもの意見反映を目的に、「こどもモニター制度」を創設し、市こども施策に関するアンケート調査を年数回実施する。 ②Web制作や情報発信が好きなこどもを集め、「こどもまちなかIT部」を創設し、こどもたちが様々な活動を行いながら、こども版の市ホームページを作成・運用する。	・「こどもモニター」100名に対し、こども施策に関するアンケート調査を年6回実施。 ・23名の部員がテーマを決め、取材や記事づくりの活動を実施（令和7年度は年15回活動）。こどものためのホームページ「こまちラポ」で活動内容を紹介する。 ・こどもの居場所マップを追加		a（順調に進んでいる）	こども未来課
75	八戸圏域ファームステイ事業	社会性や自主性を養うとともに、将来的な地元定着や地域農業の担い手につなげることを目的に、市内中学生・高校生が夏休み期間を利用して、八戸圏域内での農業体験ホームステイに参加する際の経費を補助する。	市内中学生及び高校生（8グループ・32名）が八戸圏域内（八戸市・三戸町・南部町・五戸町・新郷村）での農業体験ホームステイに参加。参加者の保護者に対し参加費用の2/3以内の額の補助金を交付。	初対面の受入農家や参加者との交流を通じて社会性が養われた。また、農業に対する関心が高まった。（アンケート結果より） 令和8年度も取組を継続する。	b（概ね順調に進んでいる）	農業経営振興センター
76	青少年海外派遣交流事業	中学校2年生を対象として、海外の各都市へ派遣し、異国の文化を学び、相互理解を深める。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	市内中学生26人をアメリカ合衆国（フェデラルウェイ市・ポートランド市ほか）へ派遣。第1次アメリカ班（13人）と第2次アメリカ班（13人）に分けて実施	・海外派遣を通して、その国の歴史や文化、産業、教育等の視察や相互の親善交歓を通して、国際的視野を広めて、国際協調の精神を養うことにつながった。 ・世界情勢を注視しつつ、安心・安全な派遣となるよう、訪問先等を選定する必要がある。	a（順調に進んでいる）	教育指導課
77	広域的体験学習支援事業	小・中学生が圏域内にある公共施設等を活用した体験学習や職業体験等を行う際のバス代を負担する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・八戸市内小学校41校中40校が実施。実施率97.5%、参加児童数のべ3,322人 ・八戸市内中学校24校中15校が実施。実施率63%、参加生徒数1,162人	・地域の施設を活用した体験活動により、地域の歴史や文化、科学や自然に対する興味・関心を高めることができた。 ・中学校では、地域企業等での社会体験学習により、生徒一人一人の社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を育むとともに、地域企業等の魅力を伝えることにつながった。	b（概ね順調に進んでいる）	教育指導課
78	青少年の地域活動	中・高生がボランティア活動を通して地域社会の一員としての自覚を深め、健全な仲間づくりや障がいのある生徒との相互理解と仲間意識の形成を図る。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・行事数 50件 ・ボランティア登録者 2,716人 ・活動人数 1,494人	・年々、登録者数及び活動人数は増加傾向となっている。	a（順調に進んでいる）	教育指導課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
79	読書に親しむ機会の充実	小学生を対象としたマイブック推進事業により、子どもが本に親しむ機会をつくり、こどもの読書活動の推進を図る。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	・市内全小学校と特別支援学校小学部児童にマイブッククーポンを配布 ・マイブッククーポンを使用して、児童が書店に出かけ本を購入 ・各小学校でマイブッククーポンで購入した本を学校での読書活動等に活用 ・クーポンを使用した児童の割合 99.4% ・クーポンの執行率 98.6% ・クーポンを使用しなかった児童 0.6%	・小学生が書店に足を運び、自ら本を選び購入する体験をすることで、読書に親しむ児童が増えた。 ・マイブック推進事業に係る出張ブックトークの実施により、本に対する興味や関心が高まった。また、ブッククーポンの使用率も向上している。	b(概ね順調に進んでいる)	教育指導課
80	おはなし会【再掲】	定期及び季節ごとにおはなし会を開催する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)				図書館
81	こどもの読書週間行事【再掲】	こどもたちの豊かな心を育むとともに、本に親しんでもらうため、「こどもの読書週間」(4/23~5/12)におはなし会や展示等を開催する。				図書館
82	ブックリストの作成【再掲】	図書館、ブックセンター、教育指導課、外部委員で構成する「選書委員会」を立ち上げ、ブックリストを作成し、利用者に提供する。				図書館 ブックセンター 教育指導課
83	えんぶりの日の制定	こどもたちが家庭や地域と共に、えんぶりに参加又は鑑賞ができ、郷土への誇りと愛着を育めるよう、2月17日を「えんぶりの日」と定め、小・中学校を休業日とするとともに、各学校・保護者への周知を図る。	事前にえんぶりの日に関する周知文書を各校に送付し、部活動等の教育活動を計画しないことや校務に支障のない教職員が年次休暇を取得し、えんぶりを鑑賞できる環境への配慮について協力を依頼した。		a(順調に進んでいる)	学校教育課
84	八戸三社大祭副読本作成	八戸三社大祭の将来の担い手であるこどもたちの興味関心を醸成し、継承を支援するため、授業で使用できる副読本を作成・配付する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	八戸三社大祭副読本刊行・配付(市内小学校の副読本使用学年児童を対象に1,829冊配付)		a(順調に進んでいる)	社会教育課
85	民俗芸能の夕べ開催事業	民俗芸能団体の活性化及び後継者養成を図り、市民の民俗芸能に対する理解と関心を喚起させることにより、民俗芸能の保存と伝承を図ることを目的に、民俗芸能の上演会を開催する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	第48回民俗芸能の夕べ兼北緯40° ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭を令和7年12月6日に開催(出演団体数7 市内4、久慈市・二戸市・南部町各1、入場者数400人)		a(順調に進んでいる)	社会教育課
86	学校等出前講座の開催	小・中学校や地域の施設等において、地域資源を活かした講座を開催する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	【社会教育課】小・中学校出前授業3件、公民館講座等7件、文化財バトルカードブース出店3件 【是川縄文館】学校や地域施設で体験学習を5回実施し、延べ369人が参加した。		a(順調に進んでいる)	社会教育課 是川縄文館 博物館

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
87	氷都八戸パワーアッププロジェクト	小学校スケート教室等への指導者派遣、スケート教室の開催及び中学競技者のスケート用具の購入に要する経費の一部を補助する。	・スケート教室への指導者派遣の希望があった連携中枢都市圏内の幼稚園、保育園、小学校計46校143件に対し、延べ341名の指導者を派遣した。 ・連携中枢都市圏内の小学生を対象とした無料のスピードスケート教室を開催した。(全9回、参加申込者数134名) ・連携中枢都市圏内の小学生を対象とした無料のフィギュアスケート教室を開催した。(全5回、参加申込者数101名) 。日本スケート連盟又は日本アイスホッケー連盟に選手登録をしている中学競技者を対象として、スケート競技用具購入に要する経費への助成を行った。(交付件数52件 【内訳】競技用スピードスケート靴 14件、競技用フィギュアスケート靴 6件、アイスホッケー用スティック 32件)		a(順調に進んでいる)	スポーツ振興課
88	ジュニアアイスホッケー交流事業	苫小牧市のアイスホッケージュニア選抜チームとの交流試合等を通じて、両市の連携・交流を推進する。	事業中止(R7.12.8に発生した地震による)	令和8年度は、八戸市ではちとまネットワーク会議(11/16、17)、苫小牧市で交流事業を実施予定。交流事業の実施時期・内容については苫小牧市と協議したうえで決定する。	b(概ね順調に進んでいる)	スポーツ振興課
89	レスリングのまち推進事業	かおりカップスーパーキッズレスリング選手権大会を青森県レスリング協会と共同で開催する。	・3月20日(金)~22日(日)に八戸市武道館を会場として開催。1日目は受付・計量、2日目に大会を開催(参加クラブ19チーム、参加者154名)。また、同日大会終了後と3日目には、伊調馨さんや青森国スポ強化選手が直接指導する合同練習会を実施した。		a(順調に進んでいる)	スポーツ振興課
90	地域スポーツチーム応援事業	プロスポーツチームのホーム戦への市内小学生の無料招待、プロスポーツ選手によるスポーツ教室並びに教室参加者の親子をホーム戦に無料招待など、プロスポーツチームの試合をみる文化の醸成を促す。	ホーム戦市内小学生無料招待(キッズデー) ・ヴァンラーレ八戸 2試合(9/20, 11/23) ・東北フリーブレイズ 12試合(10/25, 26, 12/13, 14, 1/24, 25, 2/14, 15, 28, 3/1, 7, 8) ・青森ワッツ 2試合(11/22, 23) スポーツ教室(キッズチャレンジデー) ・ヴァンラーレ八戸 2回 5/6 李忠成氏によるサッカー教室 10/25 新井山祥智サッカー教室 ・東北フリーブレイズ 2/22 アイスホッケーパス体験教室 3/8 アイスホッケーパス・シュート体験教室		a(順調に進んでいる)	スポーツ振興課
91	こどもアスリート全国大会出場応援補助金	社会体育の分野におけるスポーツ活動の一環として、市外で開催される国際大会、全国大会に出場するこどもアスリート(高校生以下の競技者)に対し、派遣費の一部を補助する。	補助申請件数 ・国際大会(国外開催): 9件 ・国際大会(国内開催): 1件 ・全国大会: 40件 延べ211名		a(順調に進んでいる)	スポーツ振興課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
92	高校生地域づくり実践プロジェクト事業	①高等学校地域活動促進事業助成金（高校生が取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決を目指した活動に対して助成金を交付） ②高校生×地域連携交流会（Uターン者・まちづくり活動実践者等による話題提供と、高校生と一般の参加者によるワークショップ）	○高等学校地域活動促進事業助成金（高校生が取り組む地域振興・地域貢献に関する活動に対し助成金を交付） ➢交付実績：申請・交付決定5件 ○高校生×地域連携交流会（Uターン者等による話題提供と、高校生と一般参加者によるワークショップ） ➢【日時】令和7年12月13日 13:30～16:30 【場所】八戸ポータルミュージアムはっち 1階 はっちひろば 【参加者】25名（高校生17名、一般8名）	R8年度から若者活躍応援課で実施予定。	a（順調に進んでいる）	市民連携推進課
93	学生まちづくり助成金等事業	学生が自主的に取り組む地域振興や地域貢献に関する事業又は活動の企画に対して助成金を交付することで、地域の活性化を図るとともに、次代を担う学生の社会参加への意識の醸成を図る。	○学生が自主的に取り組む地域振興や地域貢献に関する事業に対し助成金を交付。 ➢交付実績：申請11件/交付決定9件  ○「学生まちづくり助成金」及び「高等学校地域活動促進事業助成金」を活用し、学生や高校生が取り組んだ活動の成果報告会の実施。 ➢2月14日（土）八戸市美術館 スタジオ	R8年度から若者活躍応援課で実施予定。	a（順調に進んでいる）	市民連携推進課

#### 具体的施策（4） 健やかな成長に向けた取組の推進

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
94	性と健康の相談センター事業	思春期・妊娠・性や生殖など、ライフステージに応じた相談に対し保健師等が相談支援を行う。若い世代の男女が早い段階から健康について正しい知識を持ち、健全な生活習慣を身に付けることを目指すプレコンセプションケアの普及のための講演会を開催する。	面談 10件 電話 71件 プレコンセプションケア講演会 1回25人		a（順調に進んでいる）	すくすく親子健康課
95	パパママ体験学習	学校から依頼を受け、思春期の特徴や妊娠、出産、子育てに関する講話や、妊婦体験、育児の実習を実施し、正しい知識の普及を図る。	3回 87人		a（順調に進んでいる）	すくすく親子健康課
96	ファミリー・サポート・センター事業【再掲】	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と、支援したい人（提供会員）の相互間で育児援助を行う。				子育て支援課
97	子ども医療費の助成【再掲】	こどもの健康の保持及び増進と、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、高校生に相当する年齢までのこどもを対象とし、保険診療の一部負担金を助成する。				子育て支援課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
98	児童手当	次代の社会を担うこどもの健やかな成長を支援するため、高校生に相当する年齢までのこどもを養育している者に対し、手当支給を行う。	受給者数 14,422人 内訳：被用者 12,396人 非被用者 2,009人 施設 17人		b(概ね順調に進んでいる)	子育て支援課
99	休日・夜間の救急医療体制の確保【再掲】	休日・夜間における急病患者のため、休日夜間急病診療所に小児科医を確保する。				保健総務課
100	学校における相談体制の充実 (八戸市スクールソーシャルワーカー活用事業)	いじめや不登校等、児童生徒が抱える問題について、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけ、その状況の改善を図ることを目的として、学校や家庭と関係機関等とのネットワークの構築や児童生徒への支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣し、教育相談体制を整備する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	・市立小学校2校、中学校8校に5人のスクールソーシャルワーカーを配置した。配置校以外 <small>の小・中学校55校については、近隣の配置校から必要に応じて派遣した。</small> ・教育指導課内少年相談センターにスクールソーシャルワーカースーパーバイザーを配置し、スクールソーシャルワーカーや各校との調整、連絡を行った。  ・延べ相談件数 735件 ・学習活動支援 1,070回 ・家庭訪問 84回	・スクールソーシャルワーカーに相談したことで、早期にケース会議の開催につながったり関係機関とつながったりしたことで、児童生徒を取り巻く環境が改善した事例が報告されている。 ・保護者の困り感に寄り添い、関係機関と連携して支援したことで、保護者の安心感につながったケースも報告されている。	b(概ね順調に進んでいる)	教育指導課
101	教育相談・適応指導教室事業	教育相談や不登校状態のこどもを対象とした適応指導教室など総合的・継続的な支援体制をこども支援センターに確立することにより、こどもと保護者への適切な支援と教育環境の充実に努める。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	・教育相談部相談 延べ3,265件 ・適応指導部相談 延べ 121件 ・専門指導部相談 延べ 979件 ・幼児相談部相談 延べ1,429件 ・就学相談部相談 延べ 849件 ・公認心理師兼総括主任相談 延べ389件 ・適応指導部は、適応指導教室を開設し、通室生とその保護者に対して、学校復帰に向けた支援を年間通して行った。(年間17名利用)	・令和7年度より、これまでの専門指導部(巡回相談班・教育支援班)を専門指導部・就学相談部とし、5部体制にした。	b(概ね順調に進んでいる)	こども支援センター
102	小・中学校における食育の推進	児童生徒が生涯にわたり、健全な食生活を送るための基礎知識を身に付けられるよう、栄養教諭や学校栄養職員を活用し、「食」や肥満防止に関する指導の推進を図る。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	実施時間 310時間 小・中学校46校 肥満児童生徒の割合 13.9% (小・中男子 15.3%、小・中女子 12.5%)		a(順調に進んでいる)	学校教育課
103	学校給食費無償化事業	市内の市立小中学校に通う児童生徒に係る学校給食費の保護者負担分について、国・県の支援を活用し無償化を行う。	○県交付金額 665,200,450円 <内訳> ・小学校 約263.0円×1,582,346食 =416,192,380円 ・中学校 約330.3円×753,669食 =249,008,070円		a(順調に進んでいる)	学校教育課
104	いのちを育む教育アドバイザー事業	医師が中学生を対象に講演や指導を行い、生徒の性に関わる諸問題に対して適切に判断し対処できる資質や能力の育成を支援する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	・市立中学校の24校で実施。対面式は17校。オンラインは3回開催し、計7校が受講。	性教育にとどまらず、生き方そのものに話題が広がっている。中学生が、医師から話を聞く貴重な機会となっている。	b(概ね順調に進んでいる)	総合教育センター

### 基本目標3 若者の希望をかなえ、安心して暮らせる環境づくり

- 指標 ・あおりマッチングシステム登録者数：男性591人 女性276人 合計867人（R8.3.1時点） ・移住者数：101人（前年差+39人）
- ・市内高校・大学の就職希望者に占める管内事業所への就職率：令和7年3月卒 新規高等学校卒業者 管内事業所への就職率 42.8%  
（令和7年度末実績は夏頃に判明の見込み）

#### 具体的施策（1）結婚を希望する若者への支援

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
105	八戸圏域連携中枢都市圏縁結び支援事業	八戸圏域の8市町村で八戸圏域連携中枢都市圏縁結び支援事業協議会を運営し、出会いの場の創出や結婚へ向けた機運醸成を目的として、婚活イベントの実施や結婚支援に関する情報発信を行う。	婚活イベントを3回開催 参加者数：男性79名 女性71名 合計150名 マッチング数：16組		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
106	八戸縁結び志隊	町内会から推薦を受け、市が任命する「八戸市縁結び志隊」が、各地域に居住する結婚を望む独身者に対し、市が送付する婚活イベント情報を提供し、地域における結婚支援の機運を高め、地域で結婚を応援する。	・12町内13名が隊員として活動 ・市から婚活イベント情報を12回提供した。 （R8.3.31時点）		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
107	あおりマッチングシステム「AI（あい）であう」利用登録料助成	県と県内市町村が共同運営を行うあおり出会いサポートセンターが実施するあおりマッチングシステム「AI（あい）であう」の利用促進を図るため、利用登録料の半額を助成する。	・助成件数 37件		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
108	あおり出会いサポートセンターの共同運営	結婚を希望する方の出会いの機会づくりを支援するため、青森県と県内市町村が負担金を負担し、あおり出会いサポートセンターの共同運営を行う。	・負担金を支出し、あおり出会いサポートセンターの共同運営を行った。 ・あおり出会いサポートセンターでは、婚活イベントに関するメルマガ配信、マッチングシステムの運用を行った。 ・マッチングシステムの登録者数（R8.3.1時点） 男性591名 女性276名 合計867名		a（順調に進んでいる）	子育て支援課

#### 具体的施策（2）就労支援、雇用と経済基盤の安定のための取組

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
109	中小企業振興条例助成金交付事業（働きやすい職場環境整備事業に対する助成）	地域の中小企業者又は中小企業団体が人材の確保・定着のために実施する「働きやすい職場環境整備事業」（女性専用施設、託児スペースの設置・整備等）に要する経費の一部を助成する。	助成事業者：4者 内訳：女性専用トイレの設置：3者 外国人寮の改装：1者		a（順調に進んでいる）	商工課
110	フロンティア八戸職業訓練助成金制度	未就職者及び非正規雇用の職業能力開発を支援し、早期就職及び正規雇用転換を促進するため、厚生労働大臣指定教育訓練講座又は労働安全衛生法に基づく技能講習を受講、修了した場合に受講料を助成する。	R8.2月末時点 申請者数：3名 交付決定者数：3名 交付額：428,700円 内訳：運転免許取得3名、医療事務0名、その他（簿記等）0名	受講申請申込者数については年度ごとにばらつきがある。	b（概ね順調に進んでいる）	産業労政課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
111	無料職業紹介事業	企業の人材確保と求職者の早期就職を支援するため、八戸市無料職業紹介所を開設し、求職者への求人情報の提供や職業紹介、職業相談などの業務を行う。	R8.2月末時点 ・新規求人登録数 231人 ・新規求職登録数 42人 ・紹介数 26件 ・就職数 8人 ・相談数 72件 ・来所者数 114人	圏域内企業の人材確保及び求職者の早期就職を支援するため、継続して実施する。	b(概ね順調に進んでいる)	産業労政課
112	女性チャレンジ講座開催事業	18歳～49歳の働く女性等に対し、論理的思考力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力向上のほか、仕事や地域活動等に役立つスキルの習得のための講座を開催する。また、参加者同士のネットワーク構築を図る。	アサーティブコミュニケーションのほかビジネススキルに関する講座を7回行った。 【期間】令和7年7月から令和8年2月までのうち7回 【場所】八戸市庁 別館2階 会議室BCIほか 【人数】49名(13期生21名,14期生28名)	R8年度も継続して実施予定	a(順調に進んでいる)	市民連携推進課

### 具体的施策(3) 悩みや不安を抱える若者への支援

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
113	精神保健福祉相談	精神科医師による相談(月1回)のほか、「こころの健康相談電話」を設置し、精神保健福祉士や保健師による相談(随時)を実施し、こころの病気や不安・悩みを抱える方の相談に応じ、支援を行う。	・精神科医師による精神保健福祉相談利用者 7名 ・保健師、精神保健福祉士による精神保健福祉相談 1,613件(R8.3/31現在)		a(順調に進んでいる)	保健予防課
114	相談窓口の周知	「こころの相談窓口一覧」を作成して、身近な相談窓口を周知するとともに、県が作成している「こころの相談窓口ネットワーク電話番号一覧」を窓口で配付する。こころの相談窓口について、「わが家の健康カレンダー」に掲載するほか、市ホームページやSNS等を利用し周知する。	・こころの相談窓口一覧は、自殺予防週間、自殺対策強化月間、自殺予防講演会等で配布。自殺対策ネットワーク会議関係課等へチラシ設置・配布を依頼。 総合保健センター1階で常時グッズを添付して設置配布。図書館へもグッズ添付で配布依頼した。 ・「わが家の健康カレンダー」にも掲載した。		a(順調に進んでいる)	保健予防課
115	不妊専門相談センター事業【再掲】	専門医が不妊・不育症に悩む方の相談に応じ、不妊・不育症に関する医学的知識や治療内容などの情報提供を行う。				すくすく親子健康課
116	性と健康の相談センター事業【再掲】	思春期・妊娠・性や生殖など、ライフステージに応じた相談に対し保健師等が相談支援を行う。若い世代の男女が早い段階から健康について正しい知識を持ち、健全な生活習慣を身に付けることを目指すプレコンセプションケアの普及のための講演会を開催する。				すくすく親子健康課

## 具体的施策（４） 地元定着と還流に向けた取組

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
117	八戸産学官連携推進事業	産学官連携推進会議において、産学官が連携して取組を推進することによって、若者の地元定着を図る。	産学官連携事業として、下記取組を実施。 ①八戸地域学 ②八戸若者力形成インターンシップ ③市内企業・高等教育機関PR事業 ④外国人材受入セミナー ⑤八戸企業魅力発信・発見フェア	新たに下記2事業を実施予定。 ①(仮称)産学官連携Uターン ②インターンシップ受入企業支援事業	b(概ね順調に進んでいる)	政策推進課
118	八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業	若者や女性にとって魅力あるまちの実現に向け、八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議の円滑な運営を図る。 また、会議からの政策提言に基づき、関係部署と連携を図りながら具体的な事業化を図る。	若者や女性にとって魅力あるまちの実現に向け、八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議の円滑な運営を進め、会議からの政策提言に基づき、関係部署と連携を図り、令和8年度には19事業を実現することができた。	令和8年度は、会議メンバーがプレーヤーとなり事業立案から事業の実証を行う。	a(順調に進んでいる)	政策推進課
119	八戸若者力形成インターンシップ事業	人材不足の中小企業でも長期型のインターンシップを実施できるよう、伴走支援を行うことで、若者の企業を知る機会の増加及び企業の採用に対する意識改革を促し、若者の地元定着を図る。	実施期間：令和7年8月～9月(約1ヶ月間) 参加学生：7名 受入企業：(株)金入、(株)今田会計事務所、(株)ヴァンラーレ八戸	市内学生の参加数を増やすため、各大学への周知を強化する。	b(概ね順調に進んでいる)	政策推進課 産業労政課
120	移住・交流促進事業	首都圏等からの人の流れをつくるために、移住関連事業の発信を行い、移住相談や移住体験の充実を図ることで、八戸に移住したい人を増やし、UIJターンの促進に取り組む。	【八戸圏域移住ポータルサイト運営】 ・八戸圏域連携中枢都市圏で開設したポータルサイト「半都半島の楽しさ」を運営し、移住イベント等、八戸圏域8市町村の地域情報、移住定住支援制度等を発信。 【八戸移住促進パンフレット改訂・配布】 ・移住促進パンフレットの内容を改訂し、移住イベント等で配布する。 【移住交流イベントへの出展】 ・全国規模の移住交流イベント等に出展し、移住に興味がある層に対して当市及び当圏域の地域情報を提供するとともに、実際に移住を検討している層に対して移住相談を実施する。 【リモートワーカー等移住促進インターネット広告】 ・八戸市の移住施策をより効果的・効率的にPRすることを目的として広告文・バナーを制作し、各SNSを活用し、インターネット広告を実施。 【八戸駅帰省PR】 ・帰省時期にあわせて八戸駅新幹線改札口付近で帰省客をお出迎えし、移住パンフレット等を配布しながら、当圏域をPRする。 【移住相談窓口開設】 ・首都圏の移住相談窓口開設 八戸市東京事務所内に「八戸圏域連携中枢都市圏 観光・UIJターン窓口」を設置し、移住パンフレットの配布や問合せに対応。 ・八戸市内の移住相談窓口開設(担当課内) ・オンライン移住相談窓口開設		b(概ね順調に進んでいる)	広報統計課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
121	地方就職支援金支給事業	国の制度に基づき、東京圏内の大学を卒業して、八戸市に移住する見込みの者が、支給要件を満たした場合に八戸市地方就職支援金を交付する。	交付実績なし	国の制度設計と大学生の就職活動の現状とのミスマッチが生じており、全国的に利用が低調であるため、国において制度の見直しを図る必要がある。当市としては、国の制度に基づき、当市への移住、市内企業における人材確保を図るため、継続して事業を実施していく。	b(概ね順調に進んでいる)	産業労政課
122	ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業	UIJターン就職の促進及び各産業分野における人材不足の解消を図るため、当市へのUIJターン就職を希望する若年者・子育て世帯の方を対象に、移住のための引越費用等の一部を助成する。	R8.2月末時点 ・交付件数 18件 (移住準備10件、住宅費6件、学用品等購入2件) ・交付金額 2,438,709円	若年層の移住、市内企業における人材確保を図るため、継続して事業を実施していく。	a(順調に進んでいる)	産業労政課
123	移住支援金支給事業	国の制度に基づき、東京圏から八戸市に移住した者が要件を満たした場合に移住支援金を支給する。	R8.2月末時点 ・交付件数 12件(単身3件、世帯9件) ・交付金額 26,800,000円	当市への移住、市内企業における人材確保を図るため、国の制度に基づき継続して事業を実施していく。	a(順調に進んでいる)	産業労政課
124	医療・福祉職子育て世帯移住支援金支給事業	○県の制度に基づき、医療・福祉職の資格を有する子育て世帯が、県外から八戸市に移住し、市内の医療施設や福祉施設に就業する場合に移住支援金を支給する。 ○県の制度に基づき、新たに医療・福祉職の資格取得と就業を希望する子育て世帯が、県外から八戸市に移住し、県内の養成施設に就学する場合に移住支援金を支給する。	R8.2月末時点 ・交付件数 10件(就業10件) ・交付金額 29,000,000円	医療・福祉職子育て世帯の当市への移住、医療・福祉施設における人材確保を図るため、県の制度に基づき継続して事業を実施していく。	a(順調に進んでいる)	産業労政課
125	高校生による地元企業魅力発見体験事業	地域の次世代を担っていく高校生自らが、地域の産業や地元企業の魅力について調査し、情報発信することを通じて、地元企業や八戸で働くことの良さを認識してもらうことにより、地元企業における人材確保や当市への人材定着を図る。	参加高校 7校・33名 協力企業 20社 《実施内容》 ・事前勉強会(7月25日) ・キックオフミーティング(7月28日) ・魅力調査活動に向けた勉強会(7月30日、7月31日) ・魅力調査活動(8月4日～8月20日) ・成果発表会ミーティング(12月26日) ・成果発表会(1月25日) ・魅力発信資料「e-book」、成果発表会YouTube動画の作成(2月16日) ・地元紙紙面に採録記事を掲載(2月28日)	地元企業における人材確保及び若者の地元定着を促進するため、継続して事業を実施していく。	a(順調に進んでいる)	産業労政課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
126	若者マチナカ会議運営事業	ゲストスピーカーによる話題提供や参加者同士によるグループワークを通じて、各方面で活躍する若者の考え方や活動、多様な生き方や働き方に触れることで、この地域でやりたいこと、自分でできることについて考えてもらう機会を提供する。(参加対象：高校生～40代)	ゲストスピーカーによる話題提供及び、ゲストスピーカーを交えたグループワーク（ワールドカフェ形式）を行った。 【日時】令和8年1月31日（土） 【場所】はっち1階 はっちひろば 【参加者】30名（高校生5名、学生14名、一般11名） 【ゲストスピーカー・ファシリテーター】 ・岡本信也氏（株アイティコワーク取締役） ・久保沢麻美氏（トーキョーコーヒー八戸しまもり主宰） ・上平美紀氏（白マドの灯プロジェクトリーダー）	R8年度から若者活躍応援課で実施予定。	b（概ね順調に進んでいる）	市民連携推進課
127	学生まちづくり助成金等事業【再掲】	学生が自主的に取り組む地域振興や地域貢献に関する事業又は活動の企画に対して助成金を交付することで、地域の活性化を図るとともに、次代を担う学生の社会参加への意識の醸成を図る。				市民連携推進課
128	高校生地域づくり実践プロジェクト事業【再掲】	①高等学校地域活動促進事業助成金（高校生が取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決を目指した活動に対して助成金を交付） ②高校生×地域連携交流会（Uターン者・まちづくり活動実践者等による話題提供と、高校生と一般の参加者によるワークショップ）				市民連携推進課

基本目標4 支援が必要なすべての子ども・若者・家庭等へのきめ細かな取組の推進

- 指標 ・育てにくさを感じたときに対処できる親の割合：83.7%（前年差－1.5%）
- ・乳幼児期に体罰や暴言等によらない子育てをしている親の割合：86.1%（前年差＋1.1%）
- ・児童虐待相談件数：相談対応件数：301件（虐待対応件数：130件、その他養護相談116件、育成相談48件、その他の相談8件）

具体的施策（1）児童虐待防止対策の推進

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
129	こども家庭センター事業【再掲】	○児童福祉機能(旧子ども家庭総合支援拠点)として、こどもとその家族及び妊産婦等を対象に、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行い、要支援児童もしくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦等への支援業務の強化を図る。 ○母子保健機能(旧子育て世代包括支援センター)として、妊産婦等の妊娠期から子育て期までの総合的な支援を行う。				こども家庭相談室 すくすく親子健康課
130	「八戸版ネウボラ」の推進	保健所のすくすく親子健康課、福祉事務所のこども家庭相談室、教育委員会のこども支援センターとの連携を強化し、妊娠期から子育て期及び社会的自立まで、切れ目のない一体的な支援を行う。	・八戸市こども家庭センター事業の運営（事業番号1に記載） ・子ども家庭支援関係課担当者会議実施 月 1回、計 12回 ケース連携：子ども家庭相談室及びこども支援センターと 80件  3部署の連携を深めるため、「八戸市子ども家庭支援関係課担当者会議」を毎月1回開催し、連携に関する情報交換を行った。  ・こども支援センター相談 延べ6,919件 【年齢別相談件数】 ・未就学児 延べ2,039件 ・小学生 延べ2,704件 ・中学生 延べ2,114件 ・高校生以上延べ 62件 【各課との連携件数】 ・すくすく親子健康課 43件 ・こども家庭相談室 6件 ・ケースによって他課と情報交換を行ったり、同席での相談を行ったりした。		a（順調に進んでいる）	すくすく親子健康課 こども家庭相談室 こども支援センター
131	親子関係形成支援事業	こどもとの関わり方や子育ての悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義、グループワーク、ロールプレイ等を通じて児童の心身の発達の状況に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設けること等により、親子間における適切な関係性の構築を図る。	ペアレント・トレーニングを実施 回数：6回×2クール＋フォローアップ1回 参加者：13世帯14人		a（順調に進んでいる）	こども家庭相談室

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
132	虐待等に対する関係機関の連携	児童虐待や家庭問題等に対し、要保護児童対策地域協議会実務者会議等の実施により関係機関で情報交換を行うとともに、横断的な連携を図り早期発見・早期対応を行う。	①要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回実施。 ②要保護児童対策地域協議会実務者会議を12回実施。延べ473ケース取扱いあり。		a(順調に進んでいる)	こども家庭相談室
133	児童虐待防止及びヤングケアラー並びにDV防止の啓発活動	児童虐待防止及びヤングケアラー並びにDV防止啓発活動を行う。特に11月は、「児童虐待防止推進月間」であり、「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発期間が含まれることから、重点的に実施する。	啓発活動として、毎年11月の「児童虐待防止推進月間」及び「女性に対する暴力をなくす運動」に伴い、市内のショッピングセンターにおいて、八戸警察署などと共同で、児童虐待防止等呼びかけるチラシやパンフレットの配布などを行っている。 令和7年度(11月12日)は、イオン八戸田向店でホッカイロとポケットティッシュ、リーフレットを配布。八戸市こども家庭相談室と八戸警察署合同で対応した。		a(順調に進んでいる)	こども家庭相談室
134	虐待等防止対策会議の開催	虐待等の防止に係る対策を分野横断で総合的に推進するため、保健・医療・福祉・教育等の関係機関で構成する会議を開催し、要保護児童対策地域協議会等の庁内の分野別会議における対応体制の検証・助言等を行う。	・令和7年7月1日に第7期委員15名を委嘱を行った。 ・同日、令和7年度定例会議を開催した。	・次年度は定例会議を1回開催予定	a(順調に進んでいる)	福祉政策課

## 具体的施策(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
135	女性相談支援員及び母子・父子自立支援員による相談体制の充実	配偶者からの暴力やひとり親家庭の社会生活の問題等について相談に応じ、自立・就労に必要な支援や情報提供を行う。	①女性相談支援員 ・配置人数：3人(専任2人、兼任1人) ・相談件数：636件 ②母子・父子自立支援員 ・配置人数：2人(専任1人、兼任1人) ・相談件数：583件(母子家庭・寡婦554件、父子家庭29件)		a(順調に進んでいる)	こども家庭相談室
136	母子家庭等自立支援教育訓練助成事業	母子家庭の母及び父子家庭の父が、自立就労に効果的と認められる講座等を受講した場合、受講料の一部を助成する。	自立支援教育訓練給付金 支給件数：6件		a(順調に進んでいる)	こども家庭相談室
137	ひとり親家庭への経済的支援	ひとり親家庭の福祉増進、こどもの健やかな成長を図るため、手当支給や医療費助成等を行う。	①手当支給人数 1,772人 児童扶養手当対象児童数 2,585人 ②医療費助成資格者数 5,296人 医療費給付 58,068件		b(概ね順調に進んでいる)	子育て支援課
138	遺児等援護対策事業	遺児の健全な育成と福祉の増進を図るため、入学・卒業祝金や弔慰金の給付を行う。	・入学祝金 29名 ・卒業祝金 31名 ・弔慰金 30名		a(順調に進んでいる)	子育て支援課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
139	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	ひとり親家庭の親及び子どもの学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、正規雇用を中心とした就業につなげていくため、高卒認定試験の合格を目指す場合において、民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の軽減を図るため受講費用の一部を助成する。	①受講終了時給付金 支給件数：0件 ②合格時給付金 支給件数：0件		c（改善が必要である）	こども家庭相談室
140	ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業	ひとり親家庭及び寡婦の自立のため、就業相談の実施、就業支援講習、公共職業安定所等の関係機関と連携した就業情報の提供等、一貫した就業支援サービスを提供し、ひとり親家庭等への就業の支援を行うとともに、生活の安定と児童の福祉の増進を図る。 ①就業相談受付 ②就業に結びつきやすい資格取得のための就業支援講習会の実施 ③公共職業安定所等の関係機関と連携した就業情報の提供 ④企業と連携した内職の斡旋 ⑤弁護士による法律相談	①就業相談受付 相談件数：60件 ②就業支援講習会 実施した講習会：パソコン講習、医療事務、介護職員初任者研修、キャリアカウンセリング ③就業情報提供事業 登録者数：11人、情報提供件数：64件 ④在宅就業促進事業 登録者数：6人、業務件数：6件 ⑤女性弁護士による法律相談 開催回数：3回、相談者数：9人		a（順調に進んでいる）	こども家庭相談室
141	ひとり親家庭等日常生活支援事業	母子家庭又は父子家庭及び寡婦が、自立のための修学・疾病等の事由により生活援助及び保育サービスが必要な場合、又は生活環境等の激変により日常生活を営むのに支障が生じている場合に、無料で家庭生活支援員を派遣し、ひとり親家庭等の生活の安定を図る。	派遣家庭件数：0件 派遣延べ件数：0回 相談件数：3件		b（概ね順調に進んでいる）	こども家庭相談室
142	母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業	母子家庭の母及び父子家庭の父が、就業の際に有利かつ生活の安定に資する資格の取得を促進するため、養成訓練の受講期間について給付金を支給する。	①母子家庭等高等職業訓練促進給付金 支給件数：4件 ②母子家庭等高等職業訓練修了支援給付金 支給件数：2件		a（順調に進んでいる）	こども家庭相談室
143	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	母子及び父子家庭、並びに、寡婦の方々を対象に、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図るため、12種類の資金により貸付を行う。	貸付件数54件（新規33件、継続21件）		a（順調に進んでいる）	こども家庭相談室
144	親子交流支援事業	適切な親子交流が子どもの健やかな育ちを確保する上で有意義であることから、親が別居や離婚した後も引き続き子どもが両親のどちらとも関わることができるよう、継続的な親子交流の支援を行う。	○親子交流（面会交流）支援件数（延べ） ・相談対応 25件 ・計画策定 7件 ・面会交流 17件		a（順調に進んでいる）	こども家庭相談室

### 具体的施策（3） 障がい児及び医療的ケア児への支援の充実

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
145	障がい児及びその家庭への適切な支援	関係機関との連携を図り、個々の障がい特性に応じた支援サービスの提供や手当等の支給を行う。 ①障害児通所支援 ②障害児相談支援 ③障害児福祉手当 ④軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成金 ⑤重度障害児日常生活用具給付費 ⑥小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付費 ⑦身体障害児補装具費	①障害児通所支援給付費954人 ②障害児支援利用計画作成費 954人 ③高額障害児通所給付費 1人 ④軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成金 14件(25台) ⑤障害児福祉手当 161人 ⑥小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付費給付実人員 4人、給付件数 4件 ⑦重度障害児日常生活用具給付費 165件 ※紙おむつ、電気式たん吸引機等給付 ⑧身体障害児補装具費 116件		a（順調に進んでいる）	障がい福祉課 すくすく親子健康課
146	障害児等療育支援事業	在宅障がい児等及び保護者に対し、訪問又は外来により、療育相談・指導を行うとともに、障がい児が通う指定障害児通所支援事業所及び保育所等の職員に対し、療育に関する技術指導を行う。	①訪問による指導 5人（延べ5回） ②外来による指導 27人（延べ60回） ③療育技術指導 11か所（延べ32回）		a（順調に進んでいる）	障がい福祉課
147	医療的ケア児等総合支援事業	医療的ケア児とその家族を支援するため、保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関が連携を図るための協議の場を設けるとともに、医療的ケア児等に関するコーディネーターを配置する。	<協議の場の設置> 八戸圏域医療的ケア児支援検討会議開催（令和8年3月18日） <コーディネーターの配置> 令和5年11月1日からコーディネーターを配置		b（概ね順調に進んでいる）	障がい福祉課
148	医療的ケア児保育支援事業	ガイドラインを基に、保育所等で医療的ケア児を円滑に受け入れ、安全・安心に保育所等の利用ができるように支援する。また、医療的ケア児を受け入れる保育所等が、支援のための看護師を配置する費用等に対して、補助金を交付する。	受入施設：3施設 利用医療的ケア児童数：3人		b（概ね順調に進んでいる）	こども未来課
149	軽・中程度障がい児保育事業	軽・中程度の障がい児を対象に、保育施設で集団保育を行い、こどもの成長発達が図られるよう支援する。	・ふれあい保育事業（軽度障がい児） 実施施設数：14か所 受入児童数：41人 ・中程度障がい児保育事業 実施施設数：8か所 受入児童数：13人		a（順調に進んでいる）	こども未来課
150	特別支援教育アシスト事業	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に特別支援アシスタントを配置し、個々の教育的ニーズに応じた支援を行う。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・特別支援アシスタント配置80名（一年間70名、2学期からの配置10名） ・アシスタント研修会3回 ・活用・活動報告書 年2回提出（前後期） ・活動日誌による状況把握 ・新規採用者に対する訪問指導		b（概ね順調に進んでいる）	こども支援センター
151	特別支援教育推進事業	学齢期を通じた子育て支援及び特別な支援を要する幼児児童生徒の教育環境の充実を図り、就学前から特別な支援を要する幼児児童生徒の早期の気づきから総合的かつ継続的な支援体制を確立するため、巡回相談、教育相談などを実施する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	・小中学校及び幼稚園・保育所・認定こども園に対する巡回相談件数（延べ）：180件 ・全相談件数（延べ）：7,394件、そのうち本事業に該当する相談数：2,408件（専門指導部・幼児相談部担当）		b（概ね順調に進んでいる）	こども支援センター

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
152	特別支援教育看護支援員配置事業	医療的ケア児の在籍する小・中学校に対し、看護師又は准看護師資格のある特別支援教育看護支援員を配置する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	【医療的ケア児】小中学校：3校・4名 【特別支援教育看護支援員】7名配置		b(概ね順調に進んでいる)	こども支援センター

## 具体的施策(4) 貧困の解消に向けた対策の推進

### ① 教育の支援

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
153	八戸市生活困窮者等学習支援事業「レディスタ」	経済的な理由等から学習環境が整わない中学生・高校生(概ね18歳迄で学習意欲のある者)を対象に、拠点型(常設)の学習支援を中心とし、アウトリーチ・通信添削を含めた幅広い支援を行う。さらに、学習会への参加を促進するため、夏休み等の長期休みを利用した体験教室を開催する。また、社会性の育成、日常生活習慣の形成といった居場所づくりも提供する。	(学習会) 登録者数：114人 参加延べ人数：2,753人(月平均229人)  (体験教室) 期間：8月5日～8月9日 13:30～15:30 開催場所：YSアリーナ 参加者：20人(実人数12人)  (アウトリーチ・通信添削) 0件		b(概ね順調に進んでいる)	生活福祉課
154	就学援助	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学に必要な援助費を支給する。	小学校 ・児童数 9,835人 ・認定者数 1,515人 ・認定率 15.4% 中学校 ・生徒数 5,271人 ・認定者数 1,040人 ・認定率 19.7% ※令和8年3月31日現在		a(順調に進んでいる)	学校教育課
155	学校における相談体制の充実(八戸市スクールソーシャルワーカー活用事業)【再掲】	いじめや不登校等、児童生徒が抱える問題について、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけ、その状況の改善を図ることを目的として、学校や家庭と関係機関等とのネットワークの構築や児童生徒への支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣し、教育相談体制を整備する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)				教育指導課

## ② 生活の支援

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
156	こども家庭センター事業【再掲】	○児童福祉機能(旧子ども家庭総合支援拠点)として、こどもとその家族及び妊産婦等を対象に、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行い、要支援児童もしくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦等への支援業務の強化を図る。 ○母子保健機能(旧子育て世代包括支援センター)として、妊産婦等の妊娠期から子育て期までの総合的な支援を行う。				こども家庭相談室 すくすく親子健康課
157	子育て短期支援事業(ショートステイ)【再掲】	保護者の疾病その他の理由により、こどもの養育が一時的に困難となった場合、短期間こどもを保護する。				子育て支援課
158	こどもの居場所等支援事業【再掲】	こどもの居場所の継続的な運営と新規開設への支援を行う。				子育て支援課
159	市営住宅における優先入居	市営住宅への入居に際し、多子世帯、母子・父子世帯、DV被害者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等、居住の安定を図る必要がある世帯に対し、優先的な取扱いを行う。	・団地毎に募集戸数の3割程度を設定 ・優先入居募集戸数 3戸		a(順調に進んでいる)	建築住宅課

## ③ 保護者に対する就労の支援

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
160	母子家庭等自立支援教育訓練助成事業【再掲】	母子家庭の母及び父子家庭の父が、自立就労に効果的と認められる講座等を受講した場合、受講料の一部を助成する。				こども家庭相談室
161	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業【再掲】	ひとり親家庭の親及びこどもの学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、正規雇用を中心とした就業につなげていくため、高卒認定試験の合格を目指す場合において、民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の軽減を図るため受講費用の一部を助成する。				こども家庭相談室

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
162	ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業【再掲】	ひとり親家庭及び寡婦の自立のため、就業相談の実施、就業支援講習、公共職業安定所等の関係機関と連携した就業情報の提供等、一貫した就業支援サービスを提供し、ひとり親家庭等への就業の支援を行うとともに、生活の安定と児童の福祉の増進を図る。 ①就業相談受付 ②就業に結びつきやすい資格取得のための就業支援講習会の実施 ③公共職業安定所等の関係機関と連携した就業情報の提供 ④企業と連携した内職の斡旋 ⑤弁護士による法律相談				こども家庭相談室
163	ひとり親家庭等日常生活支援事業【再掲】	母子家庭又は父子家庭及び寡婦が、自立のための修学・疾病等の事由により生活援助及び保育サービスが必要な場合、又は生活環境等の激変により日常生活を営むのに支障が生じている場合に、無料で家庭生活支援員を派遣し、ひとり親家庭等の生活の安定を図る。				こども家庭相談室
164	母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業【再掲】	母子家庭の母及び父子家庭の父が、就業の際に有利かつ生活の安定に資する資格の取得を促進するため、養成訓練の受講期間について給付金を支給する。				こども家庭相談室

#### ④ 経済的支援

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
165	母子父子寡婦福祉資金貸付事業【再掲】	母子及び父子家庭、並びに、寡婦の方々を対象に、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図るため、12種類の資金により貸付を行う。				こども家庭相談室
166	子ども医療費の助成【再掲】	子どもの健康の保持及び増進と、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、高校生に相当する年齢までの子どもを対象とし、保険診療の一部負担金を助成する。				子育て支援課
167	ひとり親家庭への経済的支援【再掲】	ひとり親家庭の福祉増進、こどもの健やかな成長を図るため、手当支給や医療費助成等を行う。				子育て支援課
168	妊娠・出産包括支援事業【再掲】	はちまむ応援金（妊婦のための支援給付金）妊娠届出時の妊婦へ5万円、出産後の産婦へ5万円を、妊婦支援給付金として支給する。				すくすく親子健康課

## 具体的施策（５） 自殺対策及びいじめ防止対策の推進

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
169	こども家庭センター事業【再掲】	○児童福祉機能(旧子ども家庭総合支援拠点)として、こどもとその家族及び妊産婦等を対象に、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行い、要支援児童もしくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦等への支援業務の強化を図る。 ○母子保健機能(旧子育て世代包括支援センター)として、妊産婦等の妊娠期から子育て期までの総合的な支援を行う。				こども家庭相談室 すくすく親子健康課
170	いじめの問題に対する取組	○各学校における、いじめの未然防止と早期発見、早期対応及び継続的指導等に関する取組を支援する。 ○いじめ問題に児童が主体的に取り組めるよう、小学生対象の「いじめの問題等に関する対話集会」を開催する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	小学生対象の「いじめの問題等に関する対話集会」を開催し、児童が主体的にいじめ問題に向き合い話し合う場を設定した。 市内小学校41校から各2名、計82名が参加。	今後も、各学校におけるいじめの未然防止と早期発見、早期対応及び継続的指導等を支援する。	b(概ね順調に進んでいる)	教育指導課
171	学校における相談体制の充実(八戸市スクールソーシャルワーカー活用事業)【再掲】	いじめや不登校等、児童生徒が抱える問題について、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけ、その状況の改善を図ることを目的として、学校や家庭と関係機関等とのネットワークの構築や児童生徒への支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣し、教育相談体制を整備する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)				教育指導課
172	心のケア研修講座	市内小中学校の教員を対象に、こどもたちの自傷行為や自殺等の予防につながる指導や支援等についての研修を実施する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)	・様々な困難やストレスに対して適切な援助希求行動ができるようにすること、それを支援できるようにすることを目的とした研修会を実施。 ・市内小中学校、幼稚園・保育園・認定こども園の教員を対象。特別支援アシスタント18名参加。 ・参加者 93名(定員 90名)	小・中学校の教員だけでなく、幼稚園・保育園・認定こども園の教員や特別支援アシスタントと一緒に学び、情報共有をする機会となっている。	b(概ね順調に進んでいる)	総合教育センター
173	精神保健福祉相談【再掲】	精神科医師による相談(月1回)のほか、「こころの健康相談電話」を設置し、精神保健福祉士や保健師による相談(随時)を実施し、こころの病気や不安・悩みを抱える方の相談に応じ、支援を行う。				保健予防課
174	相談窓口の周知【再掲】	「こころの相談窓口一覧」を作成して、身近な相談窓口を周知するとともに、県が作成している「こころの相談窓口ネットワーク電話番号一覧」を窓口で配付する。こころの相談窓口について、「わが家の健康カレンダー」に掲載するほか、市ホームページやSNS等を利用し周知する。				保健予防課

## 具体的施策（6） 困難を抱えるこども・若者、子育て当事者への支援

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
175	八戸市ひきこもり支援ネットワーク会議	複雑化するひきこもり支援のため、医療・福祉・民間など多様な分野の関係機関との情報共有と連携強化を図る。	7/17に会議を開催し、関係機関と情報共有することができた。 参加者35名		a（順調に進んでいる）	保健予防課
176	ひきこもりに関する講演会	ひきこもりについての理解や対応、相談先等について講演会を開催する。	11/30に開催予定だったが、講師の都合により当日急遽中止となった。R8年度は開催予定としている。		b（概ね順調に進んでいる）	保健予防課
177	主任児童委員・児童委員活動の推進	主任児童委員・児童委員の資質向上や啓発活動に取り組む民生委員児童委員協議会と連携し、情報交換や研修の機会を提供するとともに、同協議会への運営支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月開催される民生委員児童委員協議会の役員会・会長会へ出席し、市の取組に係る周知や情報交換を行った。</li> <li>民生委員児童委員協議会との情報交換会に出席し、諸問題に係る意見交換を行った。（7月3日）</li> <li>市民生委員児童委員協議会の運営費及び事業費に対し、補助金を交付した。</li> <li>新任民生委員・児童委員研修会を開催した。（1月16日）</li> <li>就労しながら活動する委員の環境を整えるため、民生委員本人の希望に応じ、市から勤務先に対して活動への理解促進と配慮を求める働きかけを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員児童委員協議会との連携により、諸問題の解決に向けた情報共有が図られており、次年度以降も継続予定。</li> </ul>	a（順調に進んでいる）	福祉政策課
178	親子関係形成支援事業【再掲】	こどもとの関わり方や子育ての悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義、グループワーク、ロールプレイ等を通じて児童の心身の発達の状況に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設けること等により、親子間における適切な関係性の構築を図る。				こども家庭相談室
179	児童虐待防止及びヤングケアラー並びにDV防止の啓発活動【再掲】	児童虐待防止及びヤングケアラー並びにDV防止啓発活動を行う。特に11月は、「児童虐待防止推進月間」であり、「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発期間が含まれることから、重点的に実施する。				こども家庭相談室
180	学校における相談体制の充実（八戸市スクールソーシャルワーカー活用事業）【再掲】	いじめや不登校等、児童生徒が抱える問題について、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけ、その状況の改善を図ることを目的として、学校や家庭と関係機関等とのネットワークの構築や児童生徒への支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣し、教育相談体制を整備する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）				教育指導課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
181	校内教育センター支援員配置事業【再掲】	不登校から学校復帰する段階にある児童生徒や、不登校の兆候がみられる児童生徒に対し、日常的に学習支援を行うとともに、学校及びスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門家と連携をしながら、相談支援を行う「校内教育支援センター支援員」を新たに配置することで、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな支援を目指す。				教育指導課
182	教育相談・適応指導教室事業【再掲】	教育相談や不登校状態のこどもを対象とした適応指導教室など総合的・継続的な支援体制をこども支援センターに確立することにより、こどもと保護者への適切な支援と教育環境の充実に努める。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）				こども支援センター

基本目標5 こども施策の共通の基盤となる取組の推進

- 指標 ・子育てアプリはちも、はちすく通信LINEの登録者数 [ アプリ : 3,728名、LINE : 2,873名 ] (前年差 アプリ : +572名、LINE : 314名)
- ・こどもまちなかIT部ホームページ閲覧数 : 34,104回

具体的施策(1) 安全・安心なまちづくり

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
183	交通安全・地域安全・防災教育の推進	こども自身が交通事故や犯罪に遭わないよう、また、災害時に自らの命を守ることができるように、そして保護者や地域住民がこどもを守ることができるよう、教室の実施や広報活動を行う。	・市内幼稚園・保育園・小中学校等において交通安全教室を実施(13回) ・交通安全街頭広報活動を実施(34回) ・地域安全マップ作製指導者養成講座は、隔年開催のため令和7年度は開催なし	・八戸警察署と連携し、街頭広報活動を積極的に実施した。 ・年代に応じた効果的な啓発活動となるよう取組を進めていく。	a(順調に進んでいる)	くらし交通安全課 教育指導課
184	こどもの通学時の安全確保	新入学児童への安全帽配付及び交通災害共済掛金負担、小学校への通学路用ストップマーク配付等を行い、こどもの交通安全対策を図る。	・新入学児童へ黄色い安全帽を配布(1,504個) ・新入学児童の交通災害共済掛金を負担 ・市内小学校へストップマークを配布(24校、881枚)	・交通事故の減少を目指し、今後も事業を継続していく。	a(順調に進んでいる)	くらし交通安全課
185	防犯に係る関係機関との連携	警察や地域組織との連携を図り、情報収集や防犯活動の支援を行う。	・八戸地区連合防犯協会及び八戸地区保護司会へ補助金を交付	・今後も事業を継続し、関係団体の活動を支援していく。	a(順調に進んでいる)	くらし交通安全課
186	交通安全施設整備事業	児童・生徒の安心・安全な歩行空間を確保するため、老朽化による破損が著しい通学路の歩道補修工事を実施するとともに、通学路の安全対策を推進する。	①対象路線 無縁塚鹿島沢線(根城小学校) ②事業内容 歩道の補修 L=476.4m (劣化した歩車道境界ブロック・側溝の交換) ③事業費 52,074,000円 ④事業期間 令和8年3月末まで(一部完了)	令和8年度も同じ路線のほか、新規路線を加えて、歩道の補修を進めていく。 事業費 50,000,000円	a(順調に進んでいる)	道路維持課
187	少年相談センター活動	こどもを非行から守るため、巡回活動、少年相談を行う。	・巡回指導 延べ865日 ・相談受理 55件	・引き続き、実効ある巡回活動や傾聴に努めた少年相談を推進する。	a(順調に進んでいる)	教育指導課
188	ネット情報モラル支援事業【再掲】	各小中学校が開催するインターネットトラブル防止教室に対して講師を派遣する。(八戸市教育振興基本計画に基づく事業)				教育指導課
189	安全・安心情報システム(ほっとスルメール)	災害や犯罪に強い安全な地域づくりを目的として、緊急情報を始め、気象、火災、防犯、交通安全、消費生活などに関する情報を、登録された市民の携帯電話等へ電子メールで配信するほか、スマートフォン向けアプリ、市LINE公式アカウントでも配信する。	・配信件数 2,022件 ・登録件数 メール 50,823件 アプリダウンロード数 47,472件 ・市公式LINEほっとスルメール登録数 5,910件 ・チラシ配布数 3,414枚		b(概ね順調に進んでいる)	危機管理課
190	市営住宅における優先入居【再掲】	市営住宅への入居に際し、多子世帯、母子・父子世帯、DV被害者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等、居住の安定を図る必要がある世帯に対し、優先的な取扱いを行う。				建築住宅課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
191	八戸市地域の安心・安全見守り事業	こども等を含む配慮が必要な方々の地域での安心・安全な生活を確保するため、市と事業者間で協定を締結し、通報体制の構築及び対応・情報交換等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力事業者数 48事業者（新規2事業者）</li> <li>・令和7年度通報件数 19件</li> <li>・情報交換会の開催（R8.1.19）</li> <li>・広報はちのへによる事業周知（令和8年2月号掲載）</li> <li>・市ホームページによる事業周知</li> <li>・市LINE公式アカウントの活用による通報先確認のデジタル化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降も継続して協定締結事業者を増やし、地域の見守り体制を充実させる</li> </ul>	a（順調に進んでいる）	福祉政策課
	通学路等区画線設置事業	市内の小中学校周辺の通学路における白線等の路面表示を引き直し、登下校時の児童や生徒の安全を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業量 外側線等 L=63.7km</li> <li>②事業費 54,890,000円</li> <li>③対象学校数 31校（小・中学校）</li> <li>④施工時期 令和7年9月末完了</li> </ul>	令和7年度をもって、通学路の集中的な区画線設置は終了したため、当面は通常の維持管理の中で、様子を見ながら対応する。	a（順調に進んでいる）	道路維持課

## 具体的施策（2）多様な文化・背景を持つこども・若者が尊重される社会づくり

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
192	多文化共生推進事業	外国人や外国にルーツがあるこども等が安心して暮らせる環境づくりのため、多言語翻訳システム、外国人コミュニケーション支援員の配置等のほか、外国人住民への緊急情報発信や日本語講座の実施等の生活支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸市多文化共生推進プラン 3月策定</li> <li>八戸市多文化共生推進審議会 4回開催</li> <li>外国人コミュニケーション支援員 2名配置</li> <li>多言語翻訳システム 1台配置</li> <li>外国人相談対応 延べ67回</li> <li>外国人向け緊急情報発信 11回</li> <li>日本語講座 延べ313回開催</li> </ul>	R8年度も継続して実施予定。	a（順調に進んでいる）	市民連携推進課
193	LGBT等理解促進事業	差別や偏見のない誰もが生活しやすいまちづくりを推進するため、市民や職員を対象とした研修会等を通じて、性的指向や性自認に関する理解促進と意識啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民を対象とした「性的マイノリティ関連講座」を開催した。</li> <li>【日時】令和7年9月6日（土） 午後1時30分～午後3時</li> <li>【場所】八戸ポータルミュージアム「はっち」2階 シアター2</li> <li>【講師】木山 直子 氏 （くにたち男女平等参画ステーションステーション長）</li> <li>【受講者数】22名</li> </ul>	R8年度も継続して実施予定。	a（順調に進んでいる）	市民連携推進課
194	仕事と家庭の両立に関する啓発事業【再掲】	仕事と家庭の両立について啓発を図るため、広報やラジオ等での情報発信を行う。				市民連携推進課
195	女性チャレンジ講座開催事業【再掲】	18歳～49歳の働く女性等に対し、論理的思考力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力向上のほか、仕事や地域活動等に役立つスキルの習得のための講座を開催する。また、参加者同士のネットワーク構築を図る。				市民連携推進課
196	心のバリアフリー推進事業	市民一人ひとりが、当事者が感じている不便や不自由について理解し、意識や行動の見直し、思いやりの心の醸成につなげられるよう、意識啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・市民活動フェスティバル2025へ出展し、パネル展示・アンケートクイズを通して、心のバリアフリーの啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降も同イベントに出展し、啓発活動を継続予定</li> </ul>	a（順調に進んでいる）	福祉政策課

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
197	中小企業振興条例助成金交付事業（働きやすい職場環境整備事業に対する助成）【再掲】	地域の中小企業者又は中小企業団体が人材の確保・定着のために実施する「働きやすい職場環境整備事業」（女性専用施設、託児スペースの設置・整備等）に要する経費の一部を助成する。				商工課
198	日本語教育支援事業	市立小中学校に在籍し、日本語が未習得である等の理由により、学校生活へ適応が不十分な状態にある児童生徒に対して日本語教育支援講師を派遣する。（八戸市教育振興基本計画に基づく事業）	支援児童生徒：23人 （小学生18人、中学生5人）  支援時間：2,041時間 （小学生1,364時間、中学生677時間）		a（順調に進んでいる）	学校教育課

### 具体的施策（3） こども施策の情報発信とこども・子育て当事者の意見反映

No.	事業・取組名	令和7年度 事業・取組の内容	令和7年度 実施内容・内訳	特記事項	自己評価	担当課
199	市政情報発信力の強化事業	①インターネット環境がない人へ配慮し、インターネット環境が不要なテレビのdボタンを活用するとともに、広報紙をいつでもどこでもスマートフォン等で閲覧でき、多言語翻訳や読み上げ機能等があるアプリの活用により、誰一人取り残さず、情報を届ける仕組みとする。 ②複数の媒体で情報発信する「メディアミックス」と、情報を補完しながら別のメディアへ誘導する「クロスメディア」を促進する。	【広報はちのへ特集記事の見直し】 ・広報はちのへ特集記事を2ページから4ページに変更し、内容も重点施策に限らず子どもファースト事業を組み合わせ可能とした。 【市ホームページと広報はちのへの連動の徹底】 ・広報はちのへの掲載内容は基本的な情報を中心とした内容に絞り、詳細は市ホームページに掲載するという仕組みを徹底した。 【広報はちのへと動画との連動】 ・市の重点施策等を紹介する広報はちのへ特集記事のより効果的な発信のため、動画と連動した企画を実施した。 令和7年7月：はちのへ超帰省紹介 令和8年2月：はちのへ電子図書館		a（順調に進んでいる）	広報統計課
200	子育て情報整備事業	子育て情報の周知及び充実を図るため、LINEでの配信及び子育てアプリの運用を行う。	・「はちすく通信LINE」による情報発信 ・子育てアプリ「はちも」の運用		a（順調に進んでいる）	子育て支援課
201	赤ちゃんお出かけ応援事業	①市公共施設において、授乳・おむつ交換スペースやおむつ用ごみ箱、こども用補助便座の設置などの環境改善に取り組む。 ②市内で開催されるイベント等において、授乳・おむつ替え用赤ちゃんテントの貸出を行う。	①市公共施設における、授乳・おむつ交換スペースの確保やおむつ用ごみ箱・こども用補助便座の設置等を促進する。 ②授乳・おむつ替え用赤ちゃんテントを購入し、貸出を実施。 令和7年度：9件		a（順調に進んでいる）	こども未来課
202	こどもの声を聴く機会創出事業【再掲】	①市政へのこどもの意見反映を目的に、「こどもモニター制度」を創設し、市こども施策に関するアンケート調査を年数回実施する。 ②Web制作や情報発信が好きなこどもを集め、「こどもまちなかIT部」を創設し、こどもたちが様々な活動を行いながら、こども版の市ホームページを作成・運用する。				こども未来課